

転入・転出に関するアンケート調査報告書

(調査期間:平成31年3月から令和元年5月)

令和元年6月

牛久市

経営企画部政策企画課

目次

I	調査の概要	4
II	調査結果（単純集計）	7
1	移動数と世帯当たり平均人数、移動前の地域、移動の時期（県内・県外・国外別、月別）	8
(1)	転入者数と世帯当たり平均人数、転入前の地域、転入の時期	8
(2)	転出者数と世帯当たり平均人数、転出前の地域、転出の時期	9
2	転入前・転出後の地域（県内市町村別・県外都道府県別・国外国別）	10
(1)	転入前の地域	10
(2)	転出後の地域	13
(3)	転入超過数と転出超過数（家族込総数ベース）	16
3	移動の理由（原因者数ベース）	18
(1)	転入理由	18
(2)	転出理由	20
(3)	転入超過数と転出超過数	22
4	移動の世代（原因者数ベース）	23
(1)	転入理由となった方（原因者）の数と世代	23
(2)	転出理由となった方（原因者）の数と世代	24
5	原因者の世代と移動者数（家族込総数ベース）	25
(1)	転入理由となった方の世代と移動者数	25
(2)	転出理由となった方の世代と移動者数	28
(3)	県内・県外の比較	31
6	転入後の地区・転出前の地区	33
(1)	転入後の地区	33
(2)	転出前の地区	34
(3)	転入超過数と転出超過数	35

7	移動後の家族構成（記入者数ベース）	36
(1)	転入後の家族構成	36
(2)	転出後の家族構成	37
(3)	県内と県外の比較	38
8	世帯主の職業（記入者数ベース）	39
(1)	転入者の世帯主の職業	39
(2)	転出者の世帯主の職業	40
(3)	転入超過数と転出超過数	41
9	移動先を選んだ理由（記入者数ベース）	43
(1)	転入先を選んだ理由	43
(2)	転出先を選んだ理由	45
10	自由記述	47
Ⅲ	調査結果（詳細集計）	53
1	近隣市町村間の移動（原因者数ベース）	54
2	就職による県外間移動（原因者数ベース）	55
3	転職による転出（原因者数ベース）	57
4	結婚による移動（原因者数ベース）	59
(1)	県内間移動	59
(2)	県外間移動	61
5	住宅購入による県内間移動（原因者数ベース）	63
6	中古住宅購入による転入（原因者数ベース）	64
7	親との同居・近居による転入（原因者数ベース）	65
(1)	転入理由（親との同居・近居）	65
(2)	転入先選択理由（親兄弟が近くにいる）	66

I . 調査の概要

I. 調査の概要

(1) 調査の目的

牛久市への転入を促進し、転出を抑制するための政策・施策を検討、実践していくにあたり、転入者、転出者の属性や転入転出の理由等を収集・分析し、現状と解決すべき課題を把握するために実施するもの。前回調査と同じく、今回調査においても調査期間を転入転出数が多い3～5月に限定した。

(2) 調査対象者

牛久市に、転入届、または転出届を提出した方

(3) 調査方法

市役所（支所も含む）にて転入届、または転出届を提出した方への任意の無記名アンケート

(4) 調査期間

平成31年3月1日から令和元年5月31日まで

(5) 調査対象数

638人（有効回答者632人）

(6) アンケートで把握された移動者数と実際の移動者数

本アンケートの回収数およびアンケート記載内容により把握された移動者数、人口移動報告により把握している移動者数を比較した。月ごとのばらつきはあるものの、全移動者の約3割強のデータを取得することが出来た。

移動月	転入者数(人)				転出者数(人)			
	アンケート 記入者数	アンケート 移動者数(A)	人口移動 報告分 (B)	割合 (A/B)	アンケート 記入者数	アンケート 移動者数(A)	人口移動 報告分 (B)	割合 (A/B)
平成31年 3月	141	205	616	33.3%	182	243	682	35.6%
平成31年 4月	115	156	432	36.1%	71	98	339	28.9%
令和元年 5月	64	92	285	32.3%	59	72	309	23.3%
合計	320	453	1,333	34.0%	312	413	1,330	31.1%

(7) 使用している用語の定義

本アンケートでは、移動者について、「記入者」「原因者」「同伴者」「家族込総数」といった用語を使い、集計によって使い分けているが、その定義は次の通りである。

「記入者」：アンケートの記入者、窓口でアンケートに回答した方

「原因者」：「転勤」「結婚」など、転入・転出の理由となった方（人数は「記入者」と一致）

「同伴者」：「原因者」に伴って転入・転出した方

「家族込総数」：「原因者数」+「同伴者数」、一緒に移動した世帯人員数

Ⅱ . 調査結果

(単純集計)

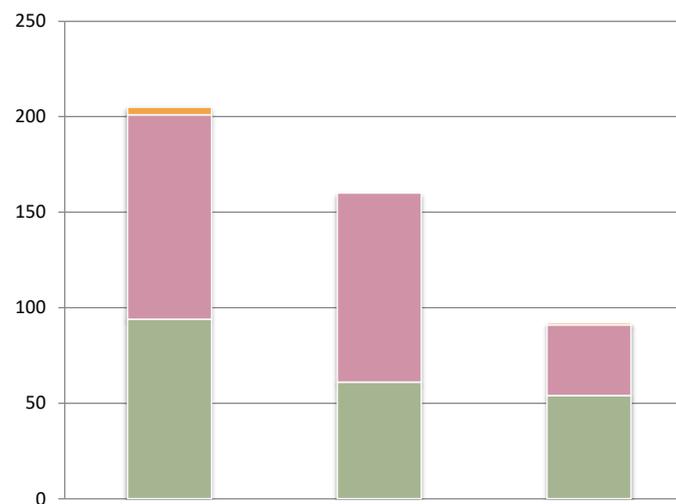
1 移動数と世帯当たり平均人数、移動前の地域、移動の時期（県内・県外・国外別、月別）

(1) 転入者数と世帯当たり平均人数、転入前の地域、転入の時期

- アンケートに回答した方の数（記入者数）は320人で、同伴者を含んだ数（家族込総数）は457人。
- 世帯当たり平均人数(家族込総数/記入者数)は1.43人、地域別では国外(2.50人)、県内(1.60人)、県外(1.30人)の順である。
- 記入者数では、県内からの転入よりも県外からの転入のほうが多く、家族込総数でも県外からの転入のほうが県内からの転入よりも多い。
 （記入者数320人のうち、県内が131人(40.9%)、県外が187人(58.4%)、家族込総数では、県内が209人(45.7%)、県外が243人(53.2%)）
- 国外からの転入者は少数である。
 （記入者数2人(0.6%)、家族込総数5人(1.1%)）
- 転入時期については、3月が最も多く、4月、5月と続く。
 （記入者数、家族込総数とも同じ傾向）



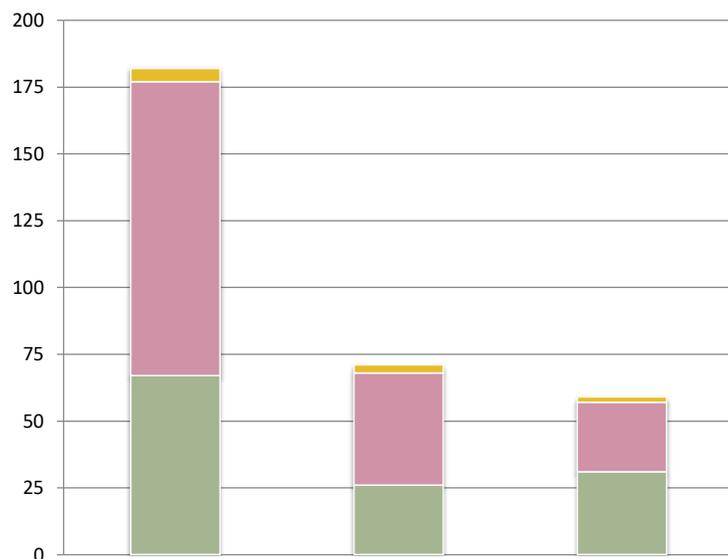
転入	記入者数計 (A)	2019年			世帯当たり平均人数 (B/A)
		3月	4月	5月	
県内	131	62	37	32	1.60
県外	187	78	78	31	
国外	2	1	0	1	
計	320	141	115	64	1.43



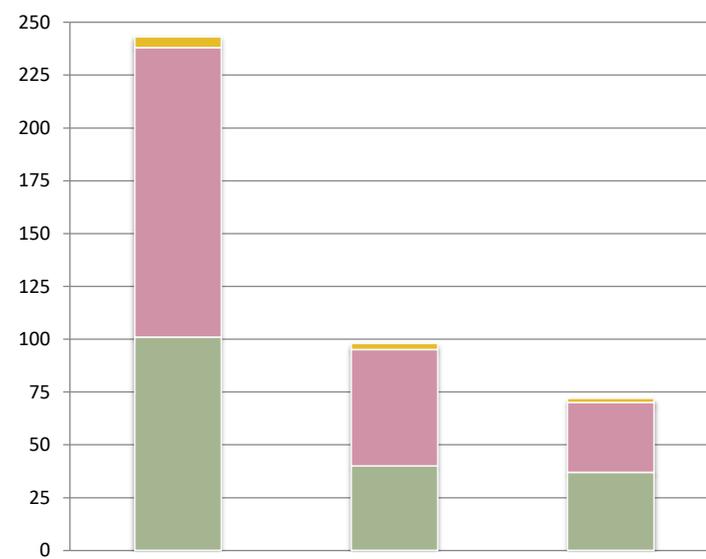
家族込総数計 (B)	2019年			世帯当たり平均人数 (B/A)
	3月	4月	5月	
209	94	61	54	1.60
243	107	99	37	
5	4	0	1	
457	205	160	92	1.43

(2) 転出者数と世帯当たり平均人数、転出前の地域、転出の時期

- アンケートに回答した方の数（記入者数）は、312人で、同伴者を含んだ数（家族込総数）は、413人。
- 世帯当たり平均人数（家族込総数／記入者数）は1.32人、地域別では、県内（1.44人）、県外（1.26人）、国外（1.00人）の順である。
- 記入者数では、**県内への転出よりも県外への転出のほうが多く、家族込総数でも県内への転出よりも県外への転出のほうが多い。**
 （記入者312人のうち、県内が124人（39.7%）、県外が178人（57.1%）。家族込総数では、県内が178人(43.1%)、県外が225人(54.5%)
 ・国外への転出者は少数である。
 （記入者10人（3.2%）、家族込10人(2.4%））
- 転出時期については、3月が最も多く、4月、5月と続く。
 （記入者数、家族込総数とも同じ傾向）



転出	記入者数計（A）	2019年3月	4月	5月
県内	124	67	26	31
県外	178	110	42	26
国外	10	5	3	2
計	312	182	71	59



家族込総数計（B）	2019年3月	4月	5月	世帯当たり平均人数（B/A）
178	101	40	37	1.44
225	137	55	33	1.26
10	5	3	2	1.00
413	243	98	72	1.32

(1) 転入前の地域

② 家族込総数ベース

- ・ 県内からの転入では、上位から〔つくば市〕、〔土浦市〕、〔龍ヶ崎市〕となっており、隣接した3市で4割強を占める。
(つくば市25.4%、土浦市12.4%、龍ヶ崎市8.1%、合計45.9%)
- ・ 県外からの転入では、上位から〔東京都〕、〔千葉県〕、〔神奈川県〕・〔埼玉県〕と東京圏からの転入で過半数を占める。
(東京都19.3%、千葉県18.1%、神奈川県8.2%、埼玉県8.2%、合計53.8%)
- ・ 国外からの転入では、1位が〔タイ〕で4人、2位が〔オーストラリア〕で1人

(単位:人)

順位	1	2	3	4	5	6	6	8	8	10	11	11	11	11	15	15	15	18	18	18	18	22	22	22	22	22	22	22	22						
県内から転入	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	阿見町	取手市	水戸市	美浦村	小美玉市	日立市	ひたちなか市	石岡市	笠間市	かすみがうら市	神栖市	鹿嶋市	桜川市	常総市	稲敷市	つくばみらい市	常陸大宮市	河内町	潮来市	筑西市	坂東市	常陸太田市	鉾田市	守谷市	結城市	東海村						
209	53	26	17	14	13	12	12	8	8	5	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1						
割合	25.4%	12.4%	8.1%	6.7%	6.2%	5.7%	5.7%	3.8%	3.8%	2.4%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.4%	1.4%	1.4%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%						
順位	1	2	3	3	5	6	6	8	8	10	11	11	13	13	13	13	17	17	17	20	20	20	20	20	20	20	27	27	27	27	27	27	27	27	27
県外から転入	東京都	千葉県	神奈川県	埼玉県	栃木県	静岡県	福島県	兵庫県	北海道	滋賀県	沖縄県	宮城県	大阪府	鹿児島県	群馬県	新潟県	愛知県	熊本県	福岡県	秋田県	愛媛県	京都府	高知県	島根県	富山県	山形県	青森県	岐阜県	徳島県	鳥取県	長崎県	長野県	広島県	福井県	宮崎県
243	47	44	20	20	14	9	9	8	8	6	5	5	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
割合	19.3%	18.1%	8.2%	8.2%	5.8%	3.7%	3.7%	3.3%	3.3%	2.5%	2.1%	2.1%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	1.2%	1.2%	1.2%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
順位	1	2																																	
国外から転入	タイ	オーストラリア																																	
5	4	1																																	
割合	80.0%	20.0%																																	

(1) 転入前の地域

③ 世帯あたり平均人数（家族込総数／記入者数）

- ・ 転入数（家族込総数ベース）の上位10市町村および上位10都道府県の世帯あたり平均人数を算出した。
- ・ 県内をみると、近隣市町村は世帯あたり平均人数が平均より上回っている傾向がある。
- ・ 県外では、特徴的な傾向は見られなかった。

（下表赤線は平均ライン）

（単位：人）

順位	1	2	3	4	5	6	6	8	9	10
県内転入平均	美浦村	つくば市	石岡市	龍ヶ崎市	水戸市	土浦市	取手市	小美玉市	常総市	阿見町
1.60	3.00	2.21	2.00	1.89	1.71	1.63	1.63	1.60	1.50	1.40
順位	1	2	3	3	3	3	7	8	9	10
県外転入平均	兵庫県	沖縄県	大阪府	高知県	滋賀県	富山県	埼玉県	静岡県	千葉県	北海道
1.30	4.00	2.50	2.00	2.00	2.00	2.00	1.54	1.50	1.42	1.33

(2) 転出後の地域

② 家族込総数ベース

- ・ 県内への転出では、上位から〔つくば市〕、〔土浦市〕、〔龍ヶ崎市〕となっており、これら3市で5割強を占める。
(つくば市24.2%、土浦市16.9%、龍ヶ崎市13.5%、合計54.6%)
- ・ 県外への転出では、上位から〔東京都〕、〔千葉県〕、〔埼玉県〕、〔神奈川県〕となっており、東京圏への転出で7割強を占める。
(東京都28.9%、千葉県23.6%、埼玉県12.4%、神奈川県8.0%、合計72.9%)
- ・ 国外への転出では、〔アメリカ〕へ3人、〔タイ〕へ2人となっている。

(単位:人)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	9	11	11	13	13	13	13	17	17	17	17	17	17									
県内へ転出	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	阿見町	取手市	水戸市	守谷市	かすみがうら市	日立市	ひたちなか市	石岡市	美浦村	北茨城市	つくばみらい市	那珂市	茨城町	稲敷市	鹿嶋市	神栖市	古河市	筑西市	常陸大宮市									
	178	43	30	24	22	10	9	7	5	4	4	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1								
割合	24.2%	16.9%	13.5%	12.4%	5.6%	5.1%	3.9%	2.8%	2.2%	2.2%	1.7%	1.7%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%								
順位	1	2	3	4	5	5	7	7	7	7	11	11	11	11	11	16	16	16	16	16	16	16	16	23	23	23	23	23	23		
県外へ転出	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	群馬県	北海道	大分県	長野県	新潟県	三重県	大阪府	福岡県	福島県	宮城県	山口県	青森県	岩手県	香川県	熊本県	静岡県	兵庫県	山梨県	愛知県	秋田県	岡山県	高知県	栃木県	山形県			
	225	65	53	28	18	5	5	4	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
割合	28.9%	23.6%	12.4%	8.0%	2.2%	2.2%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%
順位	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
国外へ転出	アメリカ	タイ	インドネシア	オーストラリア	スペイン	台湾	ドイツ																								
	10	3	2	1	1	1	1																								
割合	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%																								

(2) 転出後の地域

③ 世帯あたり平均人数（家族込総数／記入者数）

- ・ 転出数（家族込総数ベース）の上位10市町村および上位10都道府県の世帯あたり平均人数を算出した。
- ・ 県内をみると、近隣市町村の中でも世帯あたり平均人数が多い市町村もあれば、低い市町村もある。
- ・ 県外では遠方の都道府県は世帯あたり平均人数が多い。

（下表赤線は平均ライン）

（単位：人）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	9
県内転出平均	美浦村	かすみがうら市	日立市	龍ヶ崎市	阿見町	守谷市	つくば市	土浦市	取手市	水戸市
1.44	3.00	2.50	2.00	1.85	1.83	1.75	1.39	1.30	1.29	1.29
順位	1	2	3	4	4	4	7	8	9	10
県外転出平均	三重県	山口県	群馬県	大分県	熊本県	静岡県	宮城県	埼玉県	東京都	千葉県
1.26	4.00	3.00	2.50	2.00	2.00	2.00	1.50	1.33	1.27	1.23

(3) 転入超過数と転出超過数（家族込総数ベース）

① 県内

- ・ 県内の市町村間の転入超過・転出超過の状況は以下の通りである。
- ・ 全体では31人の転入超過であった。
- ・ 転入超過地域をみると、上位からつくば市、美浦村、小美玉市、笠間市、日立市となっている。
- ・ 転出超過地域をみると、上位から阿見町、龍ヶ崎市、守谷市、土浦市と近隣市町村が中心となっている。
- ・ 隣接市町村をみると、つくば市、美浦村、取手市、稲敷市では転入超過、阿見町、龍ヶ崎市、守谷市、土浦市では転出超過である。

(単位:人)

順位	1	2	3	4	4	6	6	6	6	6	11	11	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
転入超過地域	つくば市	美浦村	小美玉市	笠間市	日立市	神栖市	桜川市	常総市	取手市	水戸市	鹿嶋市	河内町	石岡市	潮来市	稲敷市	坂東市	常陸太田市	常陸大宮市	ひたちなか市	鉾田市	結城市	東海村	合計
人数	10	9	8	4	4	3	3	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	64
順位	1	2	3	4	5	5	5	8	8														
転出超過地域	阿見町	龍ヶ崎市	守谷市	土浦市	北茨城市	那珂市	茨城町	かすみがうら市	古河市	合計													
人数	8	7	6	4	2	2	2	1	1	33													

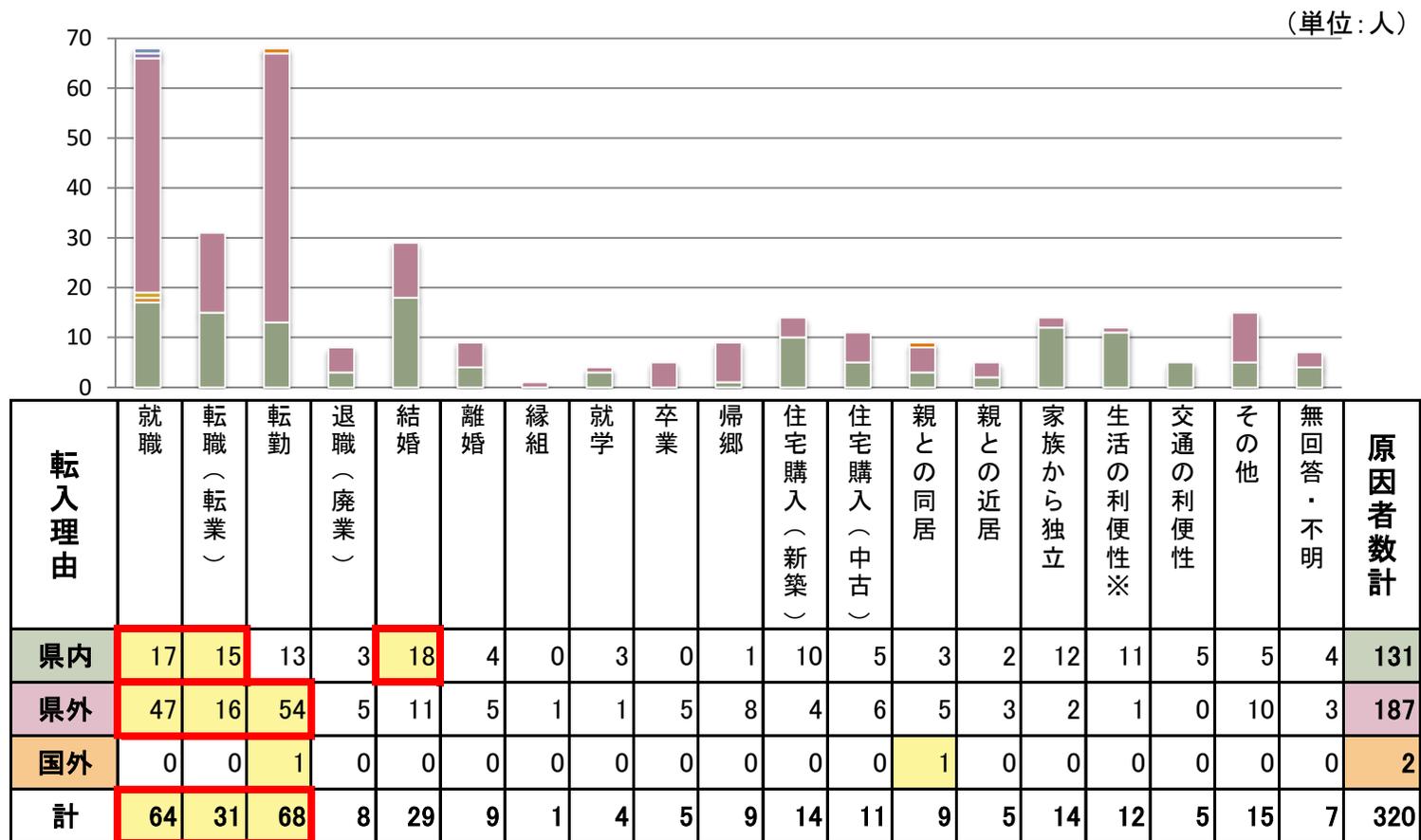
転入超過数
31

3 移動の理由（原因者数ベース）

(1) 転入理由

① 県内・県外・国外別

- ・ 転入者全体では、上位から〔転勤〕、〔就職〕、〔転勤(転業)〕となっており、これらで全体の過半数を占める。
(転勤21.3%、就職20.0%、転職(転業)9.7%、合計51.0%)
- ・ 県内からの転入では、上位から〔結婚〕、〔就職〕、〔転職(転業)〕となっており、これらで全体の4割弱を占める。
(結婚13.7%、就職13.0%、転職(転業)11.5%、合計38.2%)
- ・ 県外からの転入では、上位から〔転勤〕、〔就職〕、〔転職(転業)〕これらで全体の6割強を占める。
(転勤28.9%、就職25.1%、転職(転業)8.6%、合計62.6%)



※生活の利便性…買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

(1) 転入理由

② 月別

- ・ 転入理由の1位となっている〔転勤〕は、4月が最も多く、3月が続く。
- ・ 2位の〔就職〕は、3月が最も多く、4月が続く。
- ・ 3位の〔転職(転業)〕は、3月・5月が最も多く、4月が続く。

転入時期	原因者数(人)	月別/年間原因者数	転入理由																		
			就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2019年3月	141	44.1%	45	11	25	3	14	2	0	1	2	2	8	5	2	3	8	2	2	3	3
4月	115	35.9%	13	9	37	2	7	5	1	2	2	5	3	3	5	2	3	6	2	6	2
5月	64	20.0%	6	11	6	3	8	2	0	1	1	2	3	3	2	0	3	4	1	6	2
計	320	100.0%	64	31	68	8	29	9	1	4	5	9	14	11	9	5	14	12	5	15	7

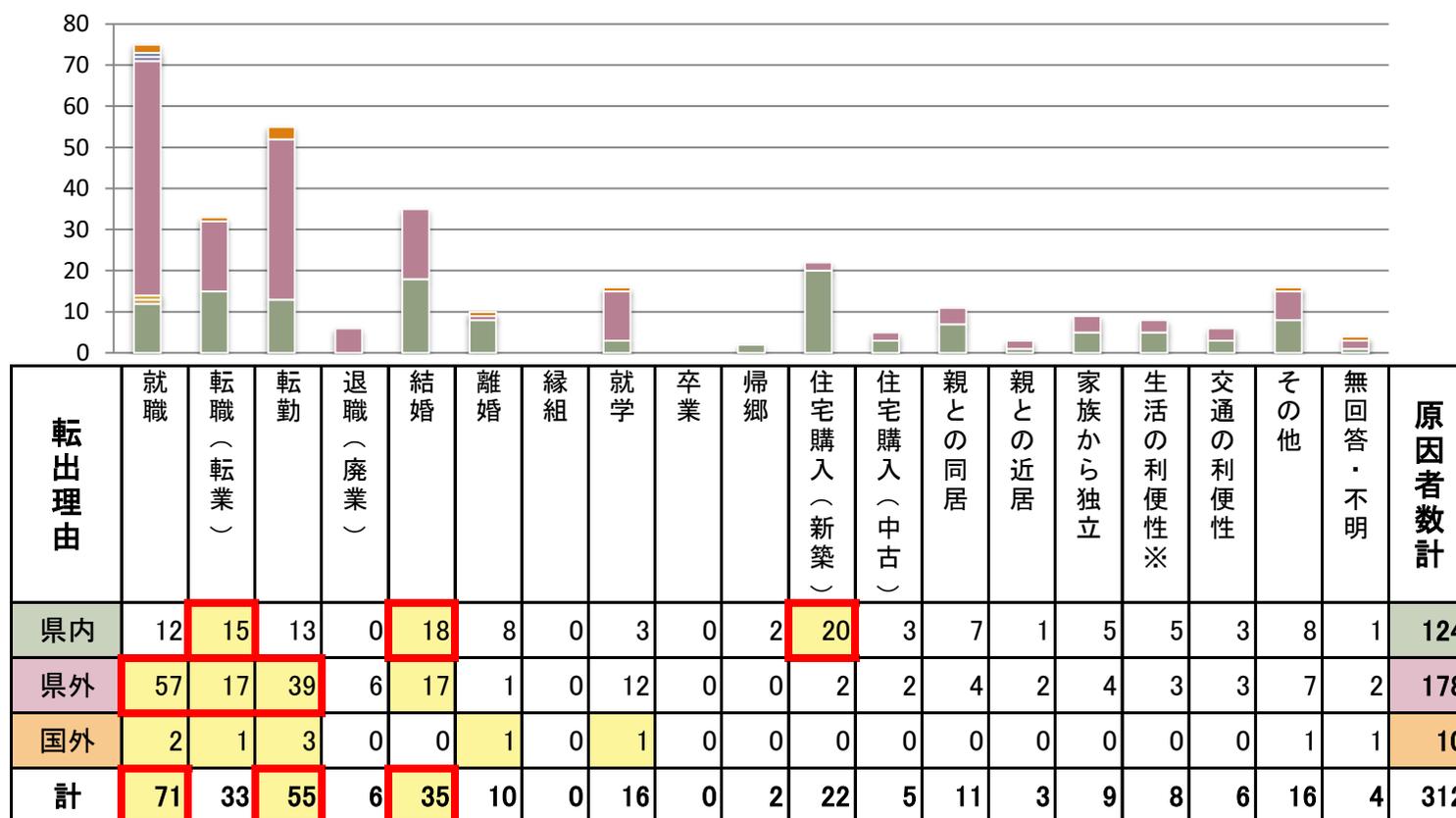
転入時期	原因者数(人)	各月の割合(%)	就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2019年3月	141	100.0%	31.9%	7.8%	17.7%	2.1%	9.9%	1.4%	0.0%	0.7%	1.4%	1.4%	5.7%	3.5%	1.4%	2.1%	5.7%	1.4%	1.4%	2.1%	2.1%
4月	115	100.0%	11.3%	7.8%	32.2%	1.7%	6.1%	4.3%	0.9%	1.7%	1.7%	4.3%	2.6%	2.6%	4.3%	1.7%	2.6%	5.2%	1.7%	5.2%	1.7%
5月	64	100.0%	9.4%	17.2%	9.4%	4.7%	12.5%	3.1%	0.0%	1.6%	1.6%	3.1%	4.7%	4.7%	3.1%	0.0%	4.7%	6.3%	1.6%	9.4%	3.1%
計	320	100.0%	20.0%	9.7%	21.3%	2.5%	9.1%	2.8%	0.3%	1.3%	1.6%	2.8%	4.4%	3.4%	2.8%	1.6%	4.4%	3.8%	1.6%	4.7%	2.2%

(2) 転出理由

① 県内・県外・国外別

- ・ 転出者全体では、上位から〔就職〕、〔転勤〕、〔結婚〕となっており、これらで全体の過半数を占める。
(就職22.8%、転勤17.6%、結婚11.2%、合計51.6%)
- ・ 県内への転出では、上位から〔住宅購入(新築)〕、〔結婚〕、〔転職(転業)〕となっており、これらで4割強を占める。
(住宅購入(新築)16.1%、結婚14.5%、転職(転業)12.1%は合計42.7%)
- ・ 県外への転出では、上位から〔就職〕、〔転勤〕、〔転職(転業)〕・〔結婚〕となっており、これらで全体の7割強を占める。
(就職32.0%、転勤21.9%、転職(転業)9.6%、結婚9.6%、合計73.1%)

(単位:人)



※生活の利便性・・・買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

(2) 転出理由

② 月別

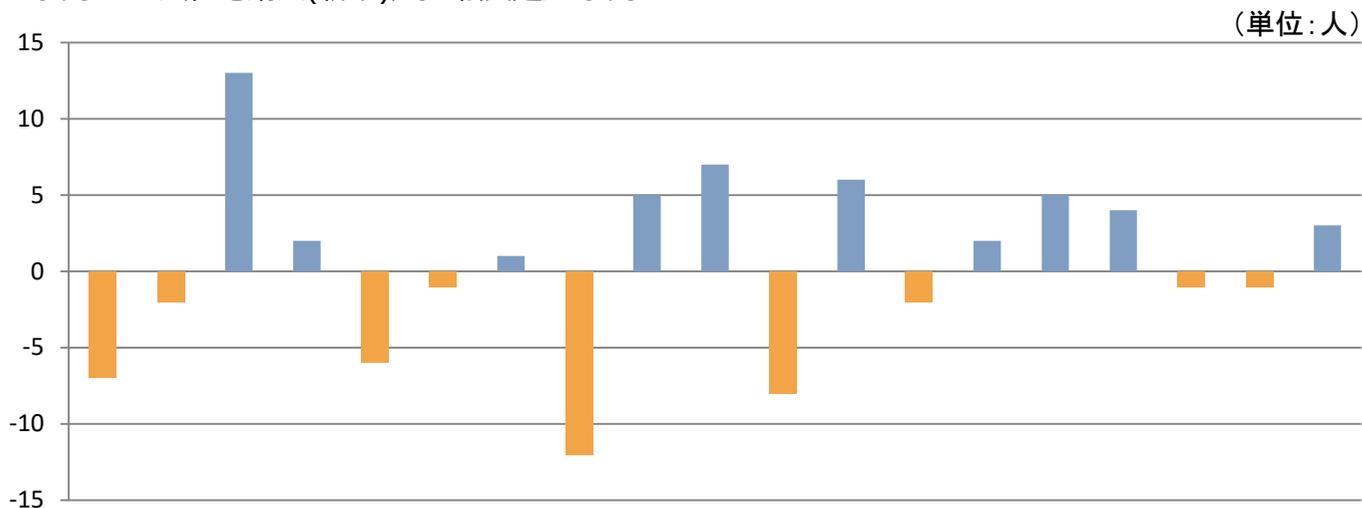
- ・ 転出理由の1位となっている〔就職〕は、3月が最も多く、4月が続く。
- ・ 2位の〔転勤〕は、3月が最も多く、4月が続く。
- ・ 3位の〔結婚〕は、3月が最も多く、5月が続く。

	原因者数(人)	月別/年間原因者数	転入理由																		
			就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2019年3月	182	58.3%	54	20	34	2	14	5	0	12	0	1	12	2	7	0	3	2	2	10	2
4月	71	22.8%	9	7	14	4	10	1	0	4	0	0	8	2	2	2	1	3	1	3	0
5月	59	18.9%	8	6	7	0	11	4	0	0	0	1	2	1	2	1	5	3	3	3	2
計	312	100.0%	71	33	55	6	35	10	0	16	0	2	22	5	11	3	9	8	6	16	4

	原因者数(人)	各月の割合(人)	就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明
2019年3月	182	100.0%	29.7%	11.0%	18.7%	1.1%	7.7%	2.7%	0.0%	6.6%	0.0%	0.5%	6.6%	1.1%	3.8%	0.0%	1.6%	1.1%	1.1%	5.5%	1.1%
4月	71	100.0%	12.7%	9.9%	19.7%	5.6%	14.1%	1.4%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	11.3%	2.8%	2.8%	2.8%	1.4%	4.2%	1.4%	4.2%	0.0%
5月	59	100.0%	13.6%	10.2%	11.9%	0.0%	18.6%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	3.4%	1.7%	3.4%	1.7%	8.5%	5.1%	5.1%	5.1%	3.4%
計	312	100.0%	22.8%	10.6%	17.6%	1.9%	11.2%	3.2%	0.0%	5.1%	0.0%	0.6%	7.1%	1.6%	3.5%	1.0%	2.9%	2.6%	1.9%	5.1%	1.3%

(3) 転入超過数と転出超過数

- ・ 転入超過となっている理由は、上位から〔転勤〕、〔帰郷〕、〔住宅購入(中古)〕となっている。
- ・ 転出超過となっている理由は、上位から〔就学〕、〔住宅購入(新築)〕、〔就職〕となっている。
- ・ 〔転勤〕が転入超過である一方、〔就職〕、〔転職(転業)〕では転出超過である。
- ・ 〔卒業〕が転入超過である一方、〔就学〕では転出超過である。
- ・ 〔住宅購入(中古)〕が転入超過である一方、〔住宅購入(新築)〕では転出超過である。



移動理由	就職	転職(転業)	転勤	退職(廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入(新築)	住宅購入(中古)	親との同居	親との近居	家族からの独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	原因者数計
牛久市へ転入	64	31	68	8	29	9	1	4	5	9	14	11	9	5	14	12	5	15	7	320
牛久市から転出	71	33	55	6	35	10	0	16	0	2	22	5	11	3	9	8	6	16	4	312
転入・転出の差	-7	-2	13	2	-6	-1	1	-12	5	7	-8	6	-2	2	5	4	-1	-1	3	8

※生活の利便性…買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

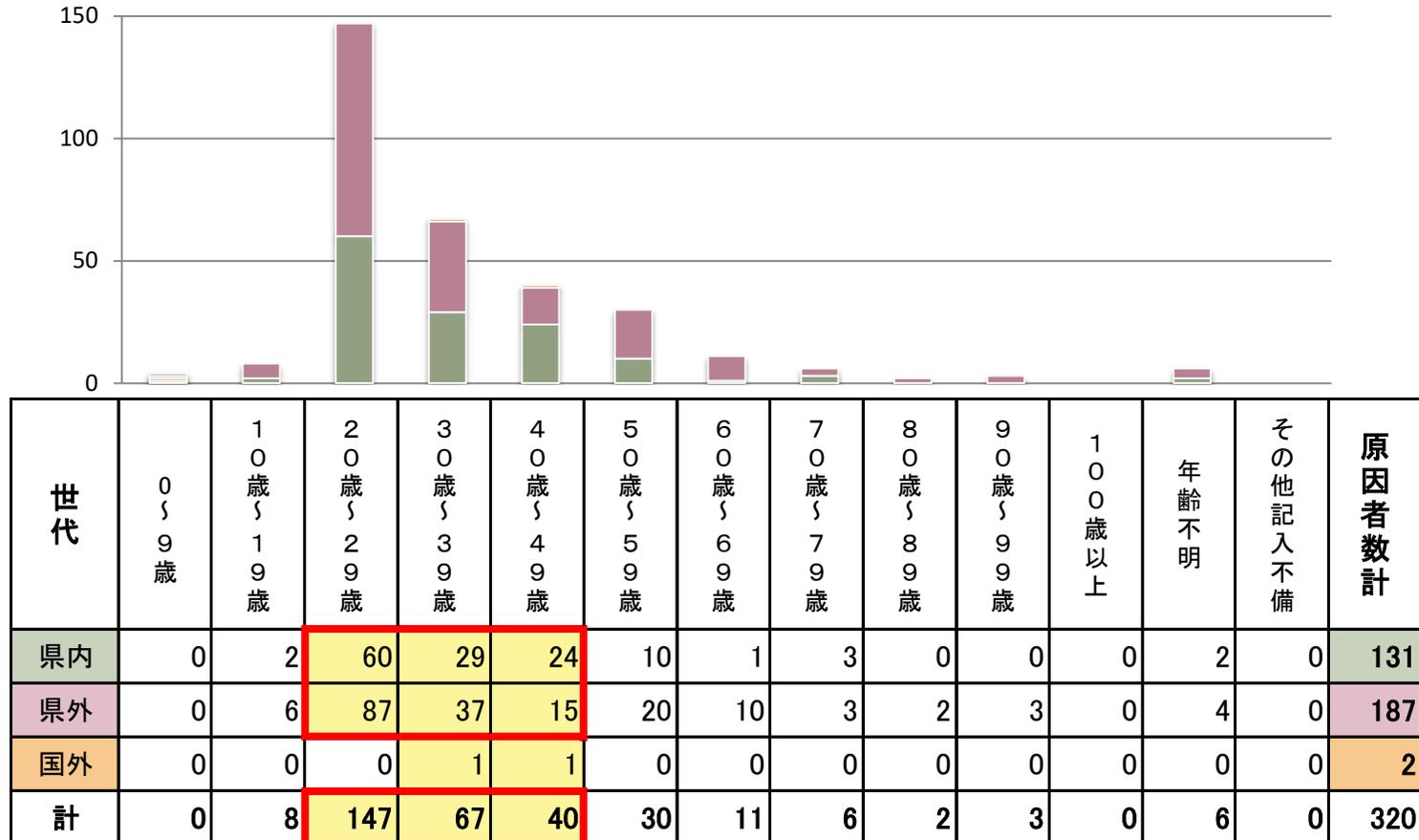
4 移動の世代（原因者数ベース）

(1) 転入理由となった方（原因者）の数と世代

① 県内・県外・国外別

- ・ 転入全体で見ると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の79.3%を占める。
(20歳代45.9%、30歳代20.9%、40歳代12.5%)
- ・ 県内・県外ともに全体と同様の傾向であり、これらの世代の転入で、県内では86.3%、県外では74.3%を占める。

(単位:人)

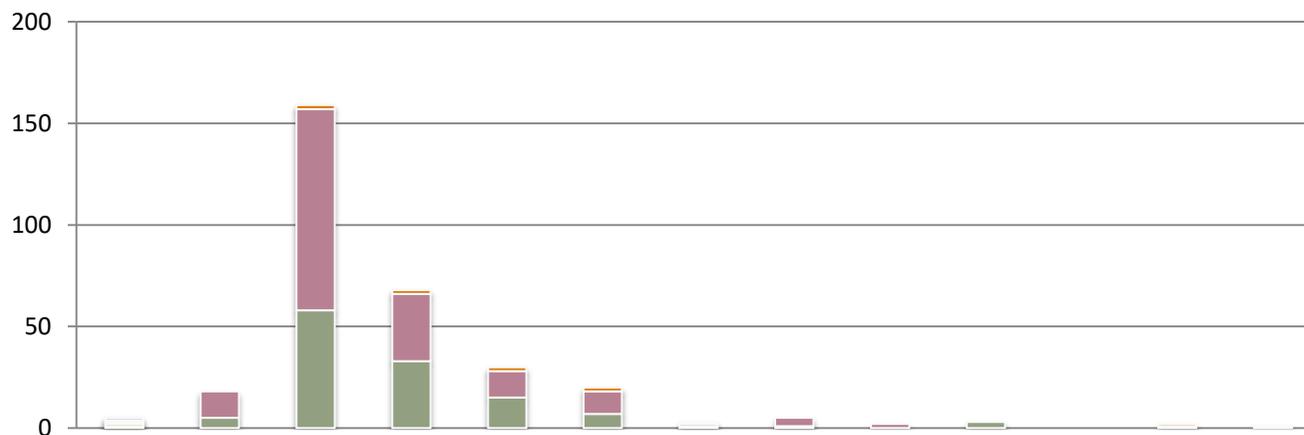


(2) 転出理由となった方（原因者）の数と世代

① 県内・県外・国外別

- ・ 転出全体で見ると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の82.4%を占める。
（20歳代51.0%、30歳代21.8%、40歳代9.6%）
- ・ 県内・県外ともに全体と同様の傾向であり、これらの世代の転出で、県内では85.5%、県外では81.5%を占める。
- ・ 国外については、同数1位で〔20歳代〕・〔30歳代〕・〔40歳代〕・〔50歳代〕となっている。

(単位:人)



世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	原因者数計
県内	0	5	58	33	15	7	1	1	0	3	0	0	1	124
県外	1	13	99	33	13	11	1	4	2	0	0	1	0	178
国外	0	0	2	2	2	2	1	0	0	0	0	1	0	10
計	1	18	159	68	30	20	3	5	2	3	0	2	1	312

5 原因者の世代と移動者数（家族込総数ベース）

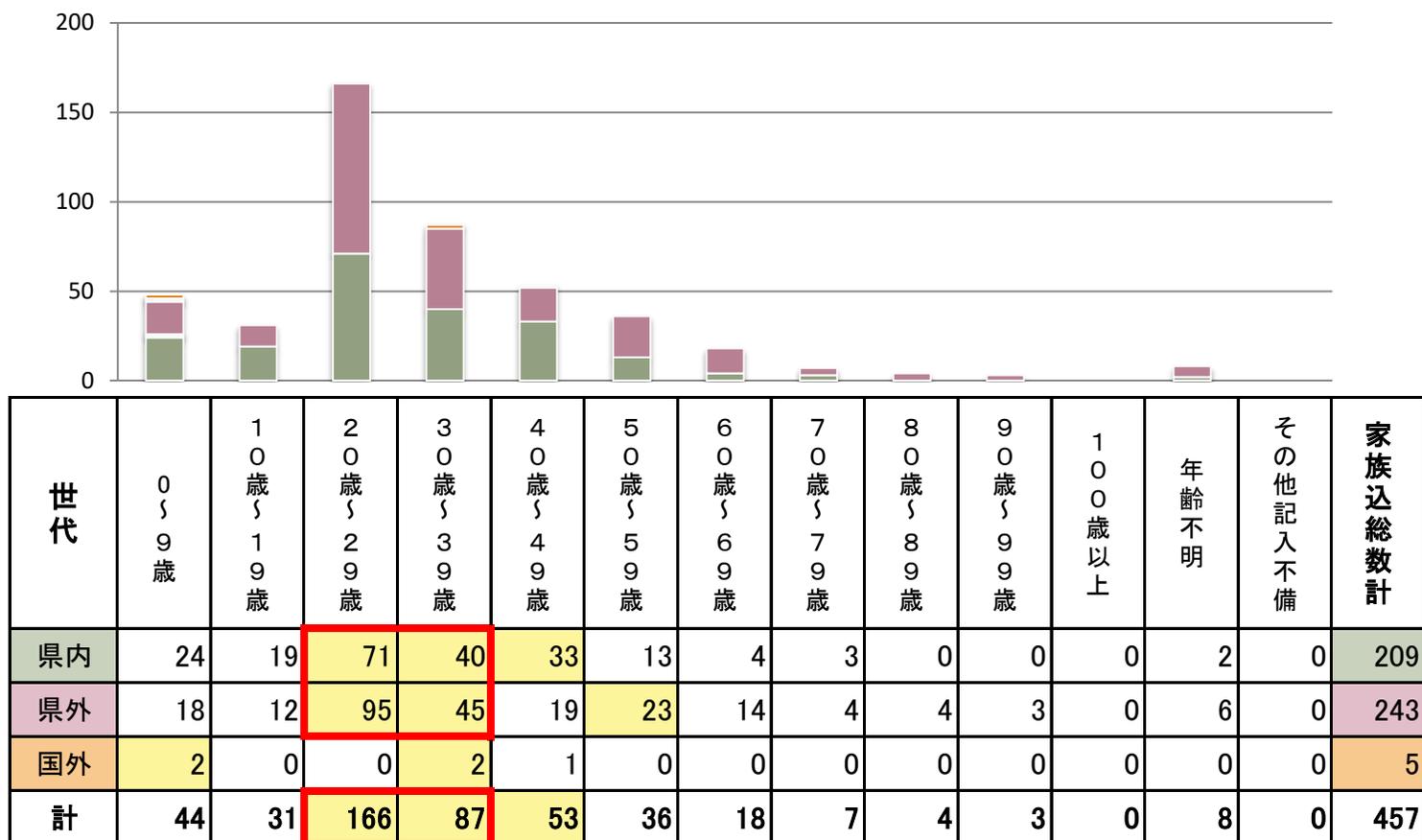
※移動の理由となった方（原因者）とその同伴者数の計を世代ごとにみることで、どの世代の移動の影響が大きいかをみる

(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

① 県内・県外・国外別

- ・転入全体で見ると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔40歳代〕となっており、これらの世代で全体の66.9%を占める。
(20歳代36.3%、30歳代19.0%、40歳代11.6%)
- ・原因者数では県内・県外ともに20歳代のほうが30歳代よりも多く、家族込総数で見ても、県内・県外ともに20歳代のほうが30歳代よりも多い。
- ・国外については、上位から〔0歳代〕・〔30歳代〕、〔40歳代〕となっている。

(単位:人)

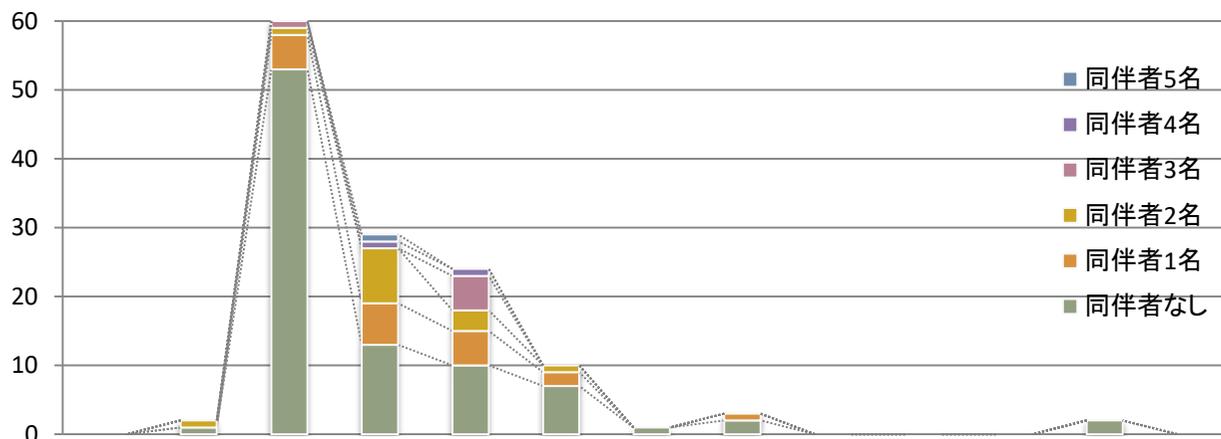


(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

② 県内

- ・ 以下は、県内からの転入理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（67.9%）、次が〔同伴者1名〕。
- ・ 同伴者が多い世代には〔30歳代〕で同伴者の合計は31名、続く〔40歳代〕は30人、〔20歳代〕は10人である。
- ・ 30歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでは20歳代のほうが30歳代の転入よりも多くなっている。

（単位：人）



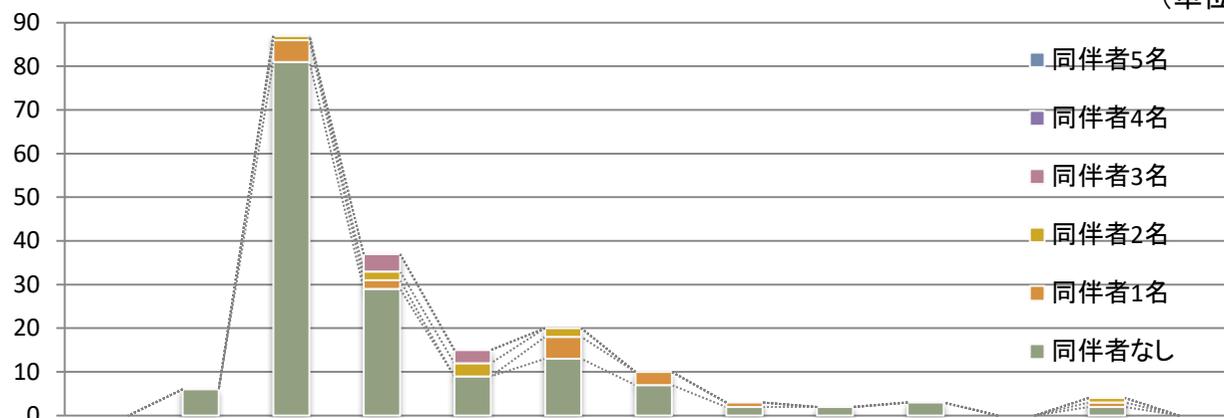
転入理由 となった方	世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	計
	人数	0	2	60	29	24	10	1	3	0	0	0	2	0	
一緒に移動する方	なし	0	1	53	13	10	7	1	2	0	0	0	2	0	89
	1名	0	0	5	6	5	2	0	1	0	0	0	0	0	19
	2名	0	1	1	8	3	1	0	0	0	0	0	0	0	14
	3名	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	4名	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	5名	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
同伴者数		0	2	10	31	30	4	0	1	0	0	0	0	0	78
家族込総数		0	4	70	60	54	14	1	4	0	0	0	2	0	209

(1) 転入理由となった方の世代と移動者数

③ 県外

- ・ 以下は、県外からの転入理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（82.4%）、次が〔同伴者1名〕。
- ・ 同伴者数が最も多い世代は、〔30歳代〕で同伴者の合計は18名、続く〔40歳代〕は15名、〔50歳代〕は9名である。
- ・ **30歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでは20歳代のほうが30歳代の転入よりも多くなっている。**

（単位：人）



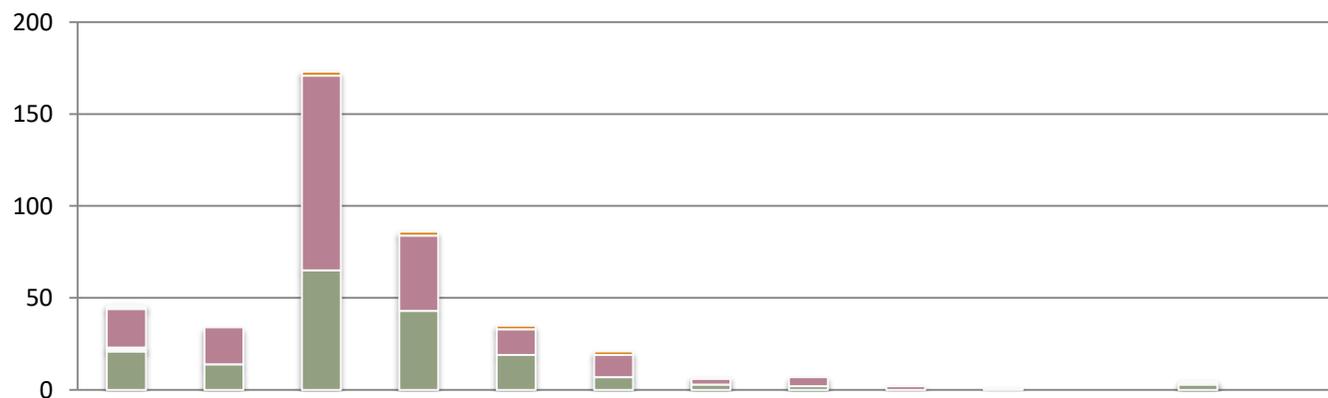
転入理由 となった方	世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	計
	人数	0	6	87	37	15	20	10	3	2	3	0	4	0	
一緒に移動する方の 人数	なし	0	6	81	29	9	13	7	2	2	3	0	2	0	154
	1名	0	0	5	2	0	5	3	1	0	0	0	1	0	17
	2名	0	0	1	2	3	2	0	0	0	0	0	1	0	9
	3名	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	4名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同伴者数		0	0	7	18	15	9	3	1	0	0	0	3	0	56
家族込総数		0	6	94	55	30	29	13	4	2	3	0	7	0	243

(2) 転出理由となった人の世代と移動者数

① 県内・県外・国外別

- ・ 転出全体でみると、上位から〔20歳代〕、〔30歳代〕、〔0歳代〕となっており、これらの世代で全体の72.9%を占める。
(20歳代41.9%、30歳代20.8%、0歳代10.2%)
- ・ 原因者数では、**県内・県外ともに20歳代のほうが30歳代よりも多く、家族込総数においても、20歳代のほうが30歳代よりも多い。**
- ・ 国外については、同数1位で〔20歳代〕・〔30歳代〕・〔40歳代〕・〔50歳代〕となっている。

(単位:人)



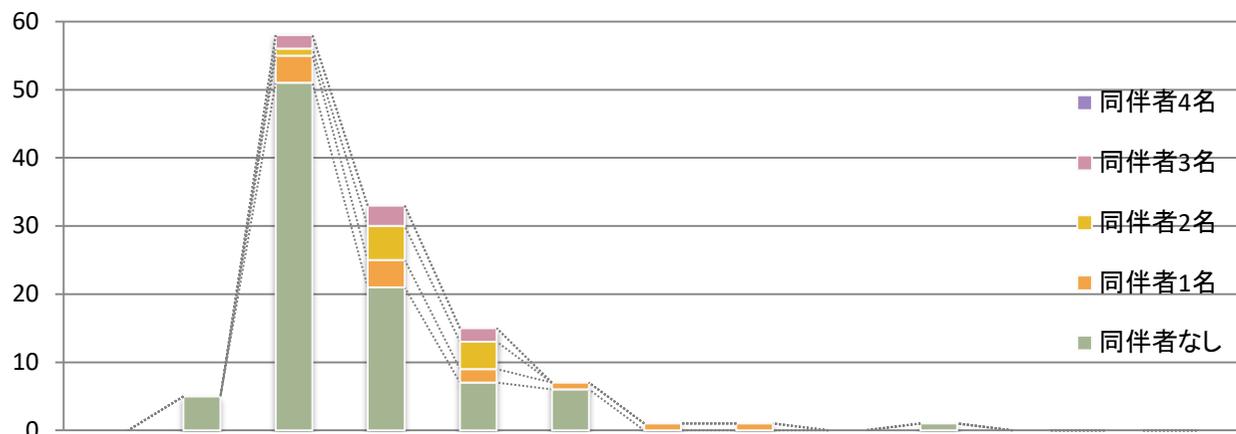
世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	家族込総数計
県内	21	14	65	43	19	7	3	2	0	1	0	3	0	178
県外	21	20	106	41	14	12	3	5	2	0	0	1	0	225
国外	0	0	2	2	2	2	1	0	0	0	0	1	0	10
計	42	34	173	86	35	21	7	7	2	1	0	5	0	413

(2) 転出理由となった方の世代と移動者数

② 県内

- ・ 以下は、県内への転出理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（73.4%）、次が〔同伴者1名〕。
- ・ 同伴者数が最も多い世代は〔30歳代〕で同伴者の合計は23人、続く〔40歳代〕は16人、〔20歳代〕は12人である。
- ・ **30歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでは20歳代のほうが30歳代の転出よりも多くなっている。**

(単位:人)



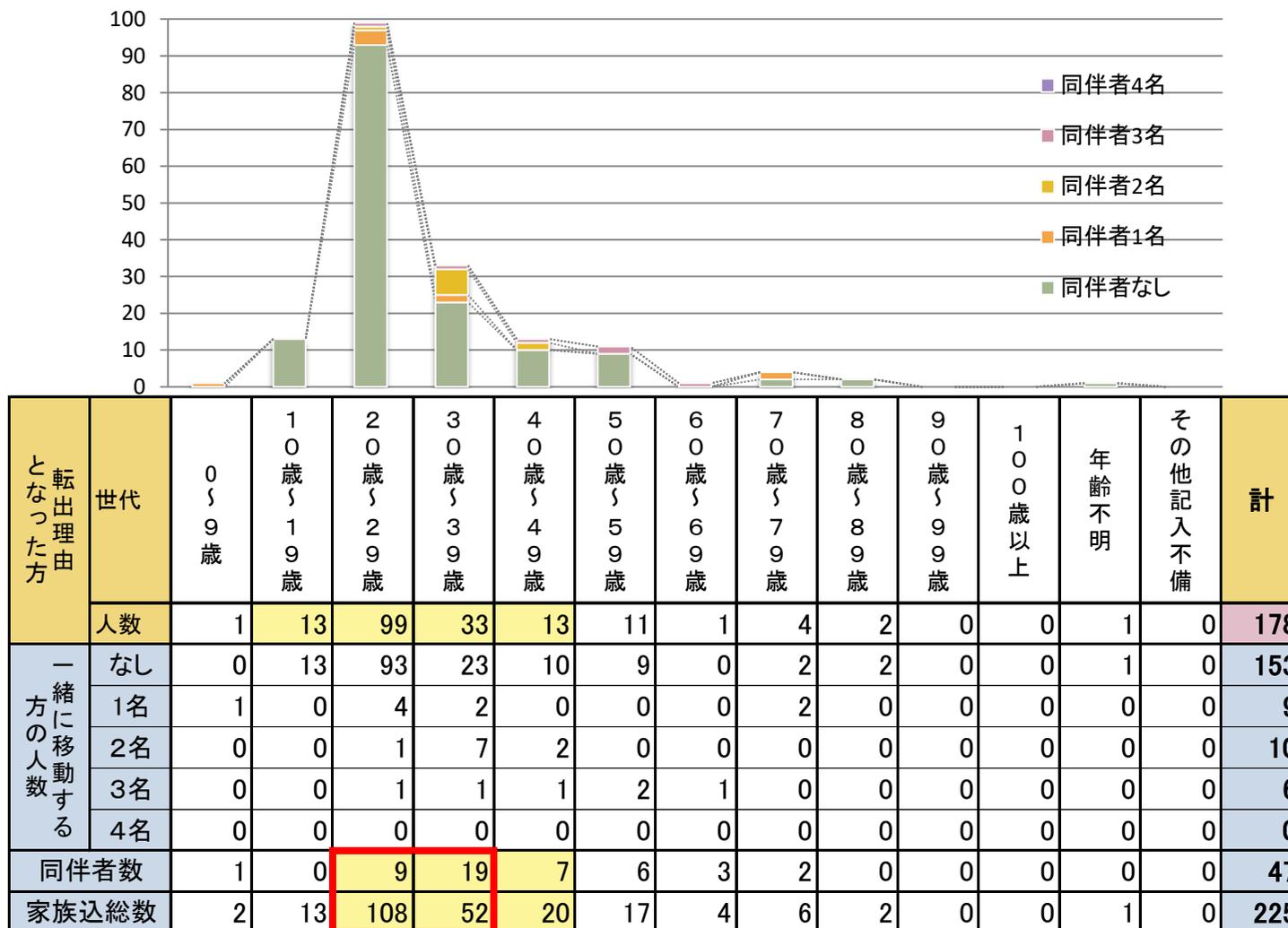
転出理由 となった方	世代	0 ～ 9 歳	10 歳 ～ 19 歳	20 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 59 歳	60 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	年齢 不明	その他 記入不 備	計
	人数		0	5	58	33	15	7	1	1	0	1	0	3	0
一緒に 移動す る方 の 人 数	なし	0	5	51	21	7	6	0	0	0	1	0	0	0	91
	1名	0	0	4	4	2	1	1	1	0	0	0	0	0	13
	2名	0	0	1	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	3名	0	0	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	4名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同伴者数		0	0	12	23	16	1	1	1	0	0	0	0	0	54
家族込 総数		0	5	70	56	31	8	2	2	0	1	0	3	0	178

(2) 転出理由となった方の世代と移動者数

③ 県外

- ・ 以下は、県外への転出理由となった方（以下原因者という）と一緒に移動する方（同伴者）の人数を世代ごとにみたものである。
- ・ 原因者と一緒に移動する方（以下同伴者という）の人数については、原因者の年齢に関係なく〔なし（0名）〕が最も多く（86.0%）、次が〔同伴者2名〕。
- ・ 同伴者が最も多い世代は、〔30歳代〕で同伴者の合計は19人、続く〔20歳代〕は9人、〔40歳代〕は7人である。
- ・ **30歳代の同伴者が最も多いが、家族込総数ベースでは20歳代のほうが30歳代の転出よりも多くなっている。**

（単位：人）

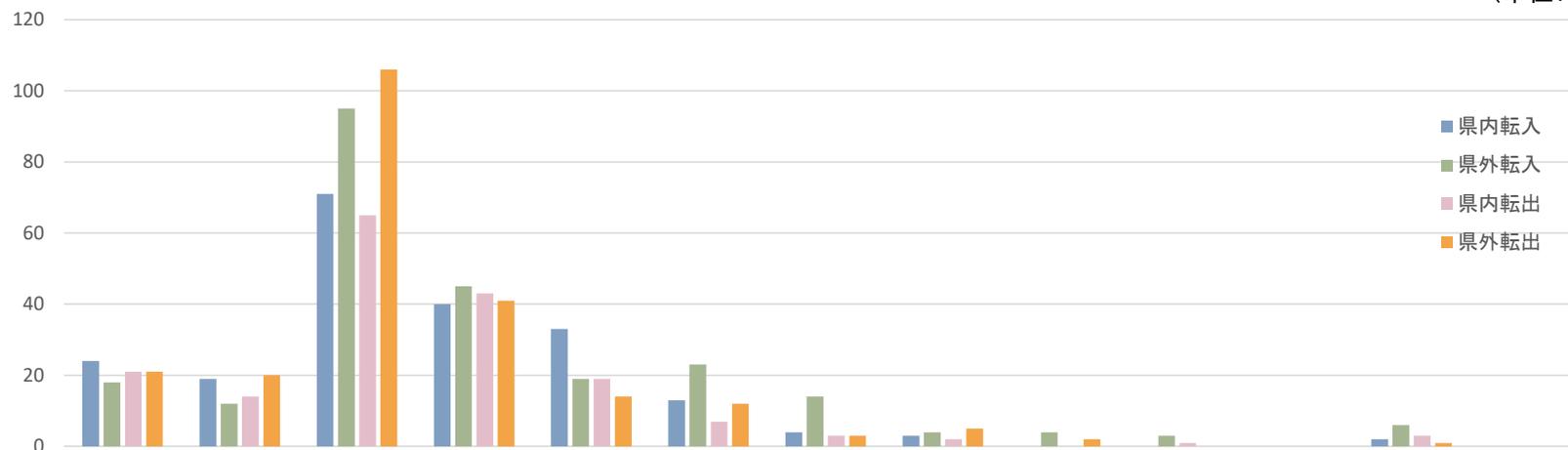


(3) 県内・県外の比較

① 移動者数

- ・ 移動者数の最も多い20歳代は、多い順に〔県外転出〕、〔県外転入〕、〔県内転入〕、〔県内転出〕となっている。
- ・ 移動者数が2番目に多い30歳代では、多い順に〔県外転入〕、〔県内転出〕、〔県外転出〕、〔県内転入〕となっている。
- ・ 移動者数が3番目に多い40歳代では、多い順に〔県内転入〕、〔県外転入〕・〔県内転出〕、〔県外転出〕となっている。

(単位:人)



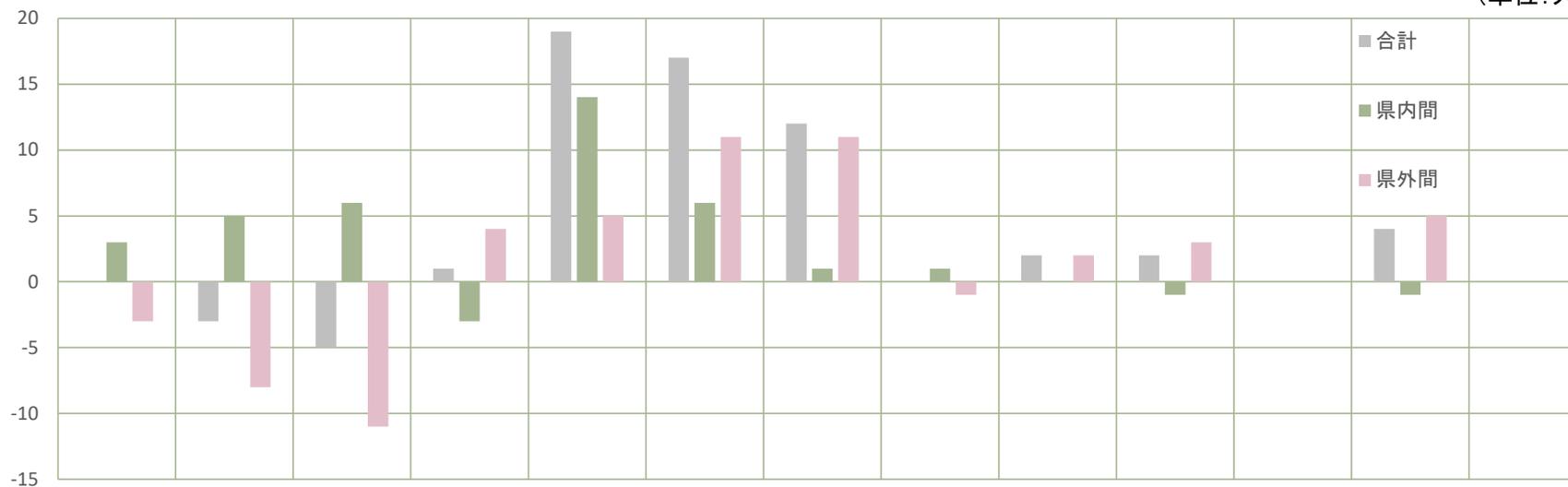
	世代	0 ～ 9 歳	10 歳 ～ 19 歳	20 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 59 歳	60 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	年齢 不明	その他 記入不 備	家族 込総 数計
転入	県内転入	24	19	71	40	33	13	4	3	0	0	0	2	0	209
	県外転入	18	12	95	45	19	23	14	4	4	3	0	6	0	243
転出	県内転出	21	14	65	43	19	7	3	2	0	1	0	3	0	178
	県外転出	21	20	106	41	14	12	3	5	2	0	0	1	0	225
移動者数計		84	65	337	169	85	55	24	14	6	4	0	12	0	855

(3) 県内・県外の比較

② 転入超過数と転出超過数

- ・ 県内間、県外間の合計で、転入超過数が最も大きいのは〔40歳代〕で、転出超過数が最も大きいのは〔20歳代〕である。
- ・ 県内間で、転入超過数が最も大きいのは〔40歳代〕で、転出超過数が最も大きいのは〔30歳代〕である。
- ・ 県外間で、転入超過数が最も大きいのは〔50歳代〕・〔60歳代〕で、転出超過数が最も大きいのは〔20歳代〕である。

(単位:人)



世代	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	計
合計	0	-3	-5	1	19	17	12	0	2	2	0	4	0	49
県内間	3	5	6	-3	14	6	1	1	0	-1	0	-1	0	31
県外間	-3	-8	-11	4	5	11	11	-1	2	3	0	5	0	18

6 転入後の地区・転出前の地区

(1) 転入後の地区

① 記入者数ベース

- ・ 転入する地区については、県内、県外の合計において、〔ひたち野西〕、〔ひたち野東〕、〔南〕が多い。
(ひたち野西10.6%、ひたち野東10.3%、南9.1%、合計30.0%)
- ・ 県内からの転入では〔さくら台〕、〔南〕、〔牛久町〕が多く、県外からの転入では〔ひたち野西〕・〔ひたち野東〕、〔牛久町〕が多い。

(単位:人)

転入	記入者数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端穴町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結末町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
県内	131	10	0	0	0	0	6	1	2	2	0	3	2	0	9	9	4	8	8	4	5	13	5	15	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	19
県外	187	18	0	0	0	0	4	4	5	1	0	1	0	0	24	24	4	3	14	4	15	16	6	8	0	0	0	1	0	12	0	0	0	0	2	21
国外	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	320	28	0	0	0	0	10	5	8	3	0	4	2	0	34	33	8	11	22	8	20	29	11	23	1	0	0	2	0	12	1	1	1	0	3	40

② 家族込総数ベース

- ・ 転入する地区については、県内、県外の合計において、〔ひたち野西〕、〔ひたち野東〕、〔南〕が多い。
(ひたち野東11.8%、ひたち野西9.8%、南9.2%、合計30.8%)
- ・ 上記2地区に次いで、県内からの転入では〔南〕・〔さくら台〕、〔牛久町〕・〔ひたち野東〕が多く、県外からの転入では〔ひたち野西〕、〔ひたち野東〕、〔牛久町〕が多い。

(単位:人)

転入	家族込総数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端穴町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結末町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
県内	209	13	0	0	0	0	7	2	6	4	0	3	2	0	11	13	4	13	9	6	7	24	12	24	4	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	40
県外	243	23	0	0	0	0	6	7	6	2	0	1	0	0	39	32	4	3	18	7	15	18	10	8	0	0	0	2	0	12	0	0	0	0	2	28
国外	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	457	36	0	0	0	0	13	9	13	6	0	4	2	0	54	45	8	16	27	13	22	42	22	32	4	0	0	3	0	12	1	1	1	0	3	68

(2) 転出前の地区

① 記入者数ベース

- ・ 転出前の地区について、全体では〔**ひたち野東**〕、〔**中央**〕、〔**牛久町**〕が多い。
 (ひたち野東8.7%、中央8.3%、牛久町8.0%、合計25.0%)
- ・ 県内への転出では、同数で〔**ひたち野東**〕・〔**上柏田**〕・〔**さくら台**〕が、県外への転出では、〔**中央**〕、〔**ひたち野東**〕、〔**牛久町**〕が多い。

(単位:人)

	記入者数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端穴町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結末町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明	
県内	124	9	0	0	0	0	7	3	2	0	0	7	3	1	7	11	4	0	11	4	9	8	6	11	3	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	1	12
県外	178	14	0	0	0	0	7	4	6	1	0	0	4	0	13	16	2	6	13	10	17	11	12	10	0	0	0	4	0	4	0	1	0	1	1	21	
国外	10	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	312	25	1	0	0	0	14	8	9	1	0	7	7	1	22	27	6	6	24	15	26	20	19	21	3	0	0	7	1	5	0	1	0	1	2	33	

② 家族込総数ベース

- ・ 転出前の地区について、全体では〔**ひたち野東**〕、〔**ひたち野西**〕、〔**牛久町**〕の順に多い。
 (ひたち野東11.4%、ひたち野西8.7%、牛久町8.0%、合計28.1%)
- ・ 県内への転出では〔**ひたち野東**〕、〔**上柏田**〕、〔**さくら台**〕が、県外への転出では〔**ひたち野東**〕、〔**ひたち野西**〕、〔**中央**〕が多い。

(単位:人)

	家族込総数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端穴町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結末町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
県内	178	14	0	0	0	0	10	7	2	0	0	12	5	1	12	19	5	0	16	4	12	10	7	15	3	0	0	3	1	1	0	0	0	0	1	18
県外	225	17	0	0	0	0	8	4	9	1	0	0	4	0	24	28	2	6	13	15	19	13	16	13	0	0	0	4	0	4	0	1	0	1	1	22
国外	10	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	413	33	1	0	0	0	18	12	12	1	0	12	9	3	36	47	7	6	29	20	32	23	24	28	3	0	0	7	1	5	0	1	0	1	2	40

(3) 転入超過数と転出超過数

- ・ 転入超過の地区について、全体では〔南〕、〔ひたち野西〕、〔柏田町〕が多い。
- ・ 転出超過の地区について、全体では〔中央〕、〔下根町〕、〔岡見町〕・〔栄町〕が多い。

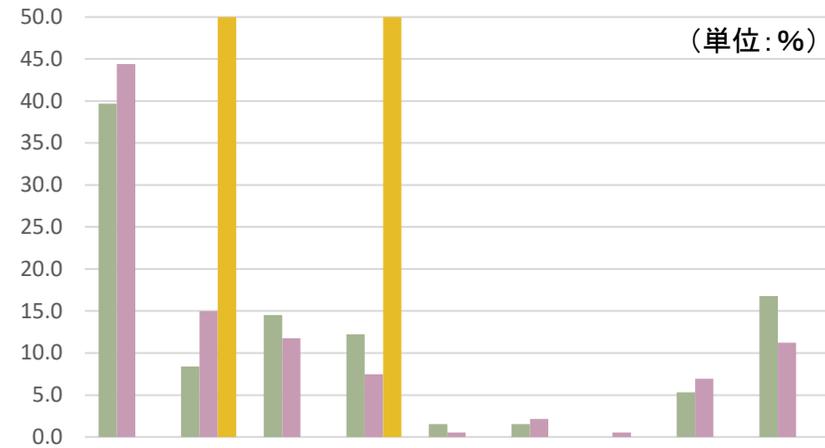
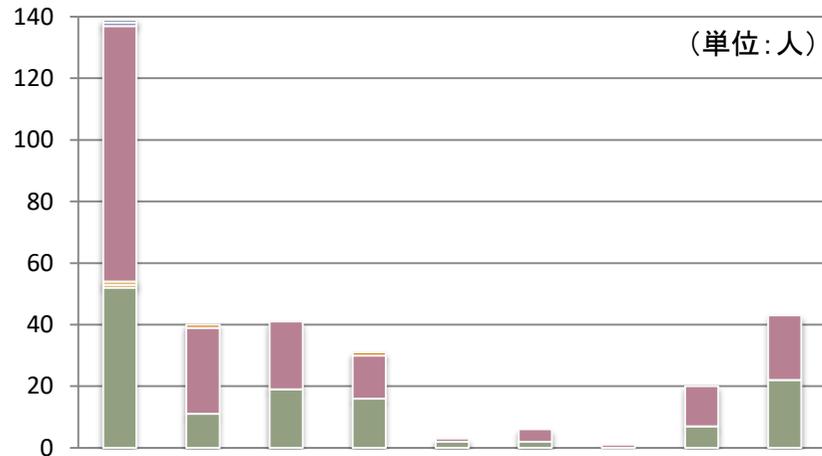
(単位:人)

		家族込総数	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端穴町	中根町	下根町	岡見町	東和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結東町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明	
県内	転入	209	13	0	0	0	0	7	2	6	4	0	3	2	0	11	13	4	13	9	6	7	24	12	24	4	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	40	
	転出	178	14	0	0	0	0	10	7	2	0	0	12	5	1	12	19	5	0	16	4	12	10	7	15	3	0	0	3	1	1	0	0	0	0	1	18	
	差	31	-1	0	0	0	0	-3	-5	4	4	0	-9	-3	-1	-1	-6	-1	13	-7	2	-5	14	5	9	1	0	0	-2	-1	-1	1	1	1	0	0	22	
県外	転入	243	23	0	0	0	0	6	7	6	2	0	1	0	0	39	32	4	3	18	7	15	18	10	8	0	0	0	2	0	12	0	0	0	0	2	28	
	転出	225	17	0	0	0	0	8	4	9	1	0	0	4	0	24	28	2	6	13	15	19	13	16	13	0	0	0	4	0	4	0	1	0	1	1	22	
	差	18	6	0	0	0	0	-2	3	-3	1	0	1	-4	0	15	4	2	-3	5	-8	-4	5	-6	-5	0	0	0	-2	0	8	0	-1	0	-1	1	6	
国外	転入	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	転出	10	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	差	-5	-2	-1	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	-2	4	0	0	0	0	-1	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	転入	457	36	0	0	0	0	13	9	13	6	0	4	2	0	54	45	8	16	27	13	22	42	22	32	4	0	0	3	0	12	1	1	1	0	3	68	
	転出	413	33	15	0	0	0	18	12	12	1	0	12	9	3	36	47	7	6	29	20	32	23	24	28	3	0	0	7	1	5	0	1	0	1	2	40	
	差	44	3	-1	0	0	0	-5	-3	1	5	0	-8	-7	-3	18	-2	1	10	-2	-7	-10	19	-2	4	1	0	0	-4	-1	7	1	0	1	-1	1	28	

7 移動後の家族構成（記入者数ベース）

(1) 転入後の家族構成

- ・ 転入後の家族構成については、上位から〔一人暮らし〕、〔夫婦が同居〕、〔親と独身の子が同居〕となっている。
- ・ (一人暮らし42.2%、夫婦が同居12.8%、親と独身の子が同居12.5%)
- ・ 〔一人暮らし〕の割合は、県外への転入のほうが、県内への転入よりも高い。(県内からの転入39.7%、県外からの転入44.4%)
- ・ 〔夫婦が同居〕の割合は、県内への転入のほうが、県外への転入よりも高い。(県内からの転入14.5%、県外からの転入11.8%)
- ・ 〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内からの転入のほうが、県外からの転入よりも高い。(県内からの転入12.2%、県外からの転入7.5%)
- ・ 〔親と独身の子が同居〕の割合は、県外からの転入のほうが、県内からの転入と比較して高い。(県内からの転入8.4%、県外からの転入15.0%)

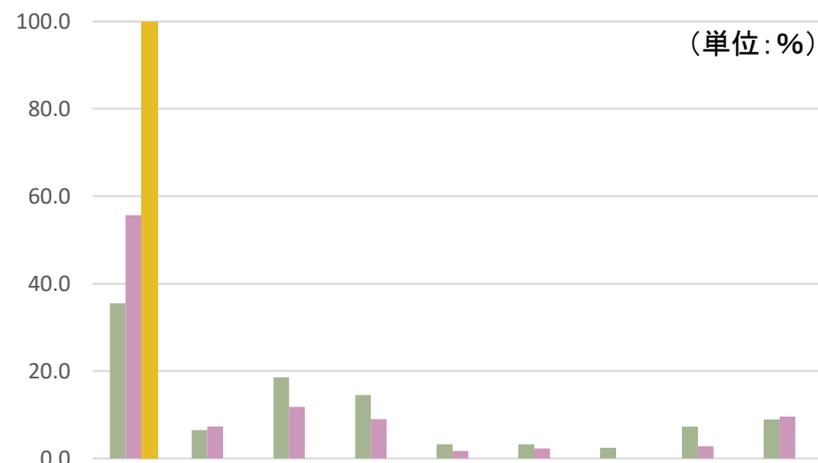
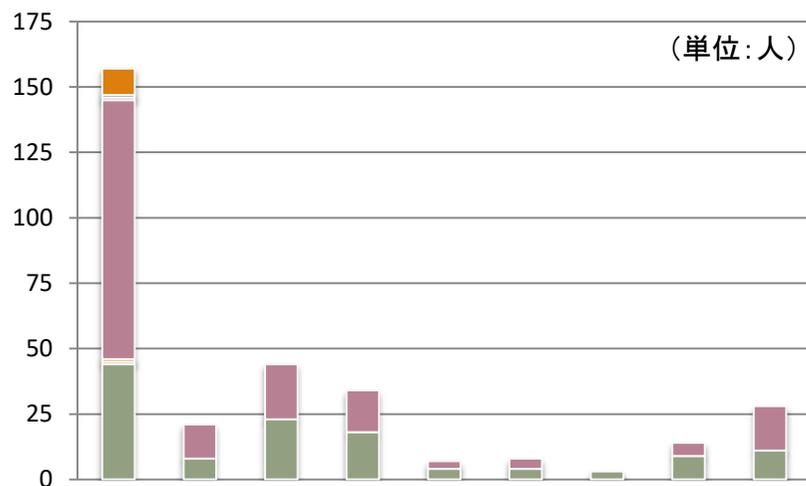


家族構成	一人暮らし	同居親と独身の子が	夫婦が同居	同居夫婦と子どもが	ひとり親と子どもが同居	親と子どもが同居	親と独身の子	その他	無回答・不明	記入者数計
県内	52	11	19	16	2	2	0	7	22	131
県外	83	28	22	14	1	4	1	13	21	187
国外	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
計	135	40	41	31	3	6	1	20	43	320

家族構成	一人暮らし	同居親と独身の子が	夫婦が同居	同居夫婦と子どもが	ひとり親と子どもが同居	親と子どもが同居	親と独身の子	その他	無回答・不明	計
県内	39.7	8.4	14.5	12.2	1.5	1.5	0.0	5.3	16.8	100.0
県外	44.4	15.0	11.8	7.5	0.5	2.1	0.5	7.0	11.2	100.0
国外	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	42.2	12.5	12.8	9.7	0.9	1.9	0.3	6.3	13.4	100.0

(2) 転出後の家族構成

- ・ 転出後の家族構成については、上位から〔一人暮らし〕、〔夫婦が同居〕、〔夫婦と子どもが同居〕となっている。
（一人暮らし49.0%、夫婦が同居14.1%、夫婦と子どもが同居10.9%）
- ・ 〔一人暮らし〕の割合は、県外への転出のほうが、県内への転出よりも高い。（県内への転出35.5%、県外への転出55.6%）
- ・ 〔夫婦が同居〕の割合は、県内への転出のほうが、県外への転出よりも高い。（県内への転出18.5%、県外への転出11.8%）
- ・ 〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内への転出のほうが、県外からの転入よりも高い。（県内への転出14.5%、県外への転出9.0%）
- ・ 〔親と独身の子が同居〕の割合は、県外への転出のほうが、県内からの転入と比較して高い。（県内への転出6.5%、県外への転出7.3%）

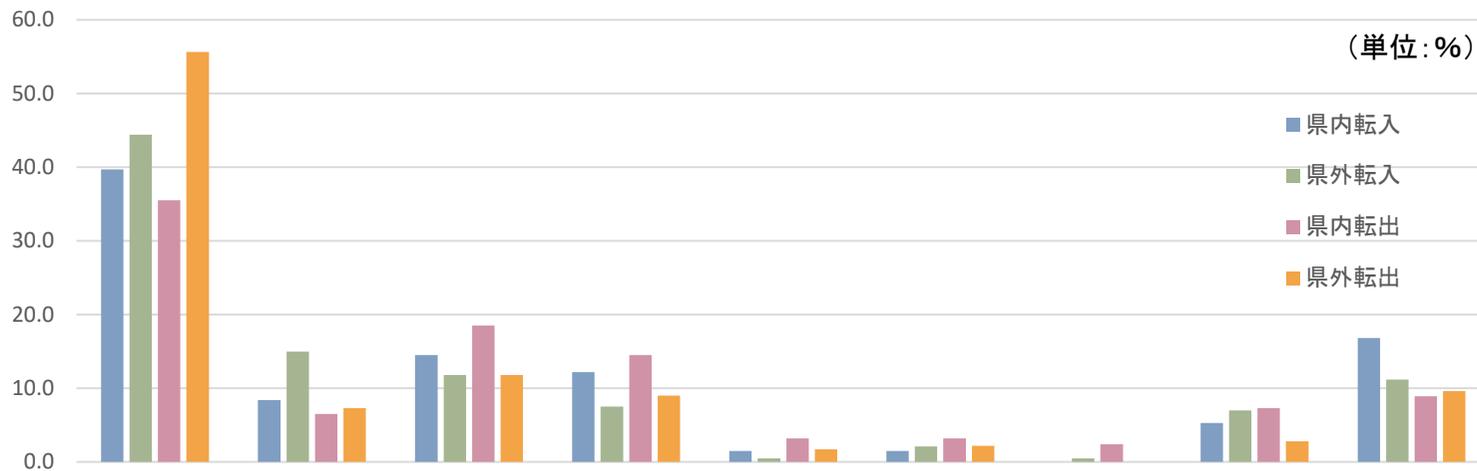


家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	記入者数計
県内	44	8	23	18	4	4	3	9	11	124
県外	99	13	21	16	3	4	0	5	17	178
国外	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
計	153	21	44	34	7	8	3	14	28	312

家族構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	計
県内	35.5	6.5	18.5	14.5	3.2	3.2	2.4	7.3	8.9	100.0
県外	55.6	7.3	11.8	9.0	1.7	2.2	0.0	2.8	9.6	100.0
国外	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	49.0	6.7	14.1	10.9	2.2	2.6	1.0	4.5	9.0	100.0

(3) 県内と県外の比較

- ・ 移動後に〔一人暮らし〕の割合は、転入・転出、県内・県外全ての区分において最も高いが、県外間移動(特に転出)でより高い傾向がある。
- ・ 〔一人暮らし〕の割合は、県外への転出のほうが、県内への転出よりも高い。(県内への転出35.5%、県外への転出55.6%)
- ・ 〔夫婦が同居〕の割合は、県内への転出のほうが、県外への転出よりも高い。(県内への転出18.5%、県外への転出11.8%)
- ・ 〔夫婦と子どもが同居〕の割合は、県内からの転入のほうが、県外からの転入よりも高い。(県内からの転入12.2%、県外からの転入7.5%)
- ・ 〔親と独身の子が同居〕の割合は、県外からの転入のほうが、県内からの転入と比較して高い。(県内からの転入8.4%、県外からの転入15.0%)

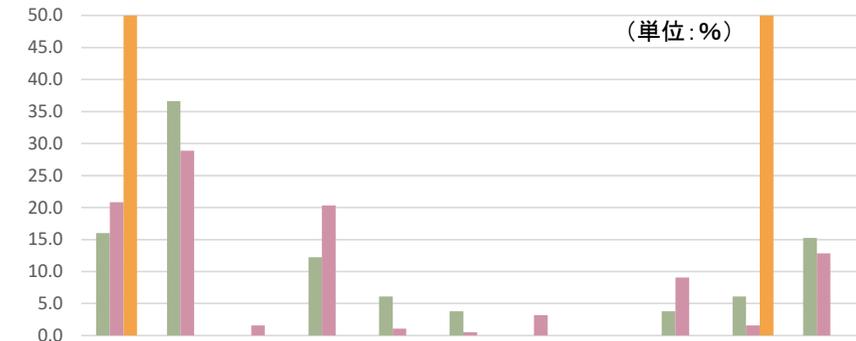
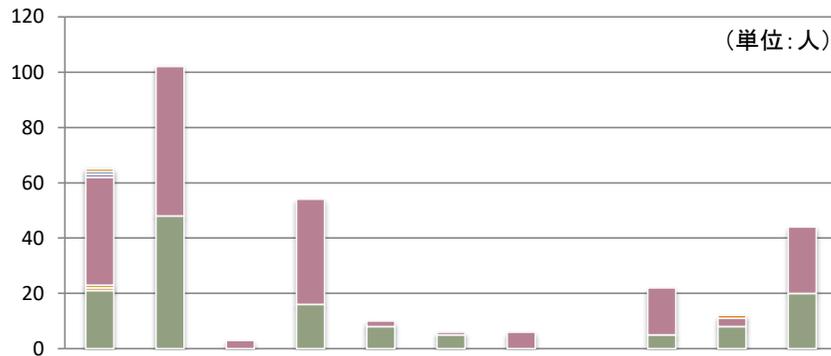


	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	ひとり親と子どもが同居	親と孫が同居、孫が同居	親と独身の子	その他	無回答・不明
県内転入	39.7	8.4	14.5	12.2	1.5	1.5	0.0	5.3	16.8
県外転入	44.4	15.0	11.8	7.5	0.5	2.1	0.5	7.0	11.2
県内転出	35.5	6.5	18.5	14.5	3.2	3.2	2.4	7.3	8.9
県外転出	55.6	7.3	11.8	9.0	1.7	2.2	0.0	2.8	9.6

8 世帯主の職業（記入者数ベース）

(1) 転入者の世帯主の職業

- ・ 転入者の世帯主の職業については、上位から〔会社員（市外勤務）〕、〔会社員（市内勤務）〕、〔公務員・団体職員〕となっている。
- ・ 〔会社員（市内勤務）〕の割合は、**県外からの転入者のほうが、県内からの転入者よりも高い。**
（県内からの転入者16.0%、県外からの転入者20.9%）
- ・ 〔会社員（市外勤務）〕の割合は、**県内からの転入者のほうが、県外からの転入者よりも高い。**
（県内からの転入者36.6%、県外からの転入者28.9%）
- ・ 〔公務員・団体職員〕の場合は、**県外からの転入者のほうが、県内からの転入者よりも高い。**
（県内からの転入者12.2%、県外からの転入者20.3%）

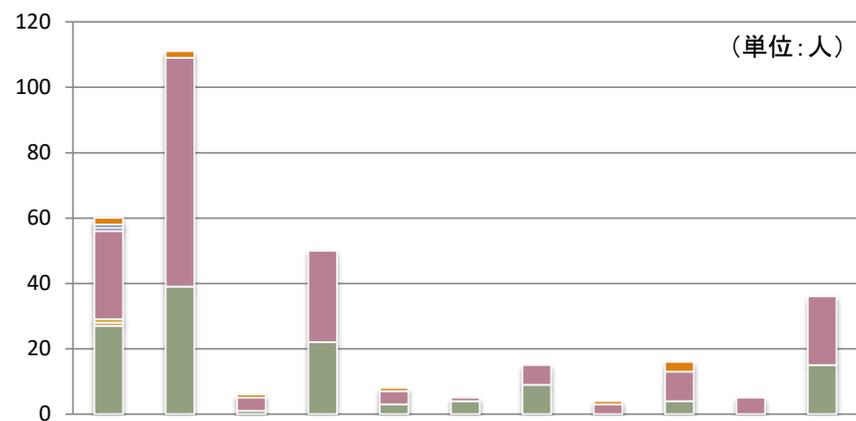


世帯主職業	(単位:人)											記入者数計
	会社員(市内勤務)	会社員(市外勤務)	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	
県内	21	48	0	16	8	5	0	0	5	8	20	131
県外	39	54	3	38	2	1	6	0	17	3	24	187
国外	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
計	61	102	3	54	10	6	6	0	22	12	44	320

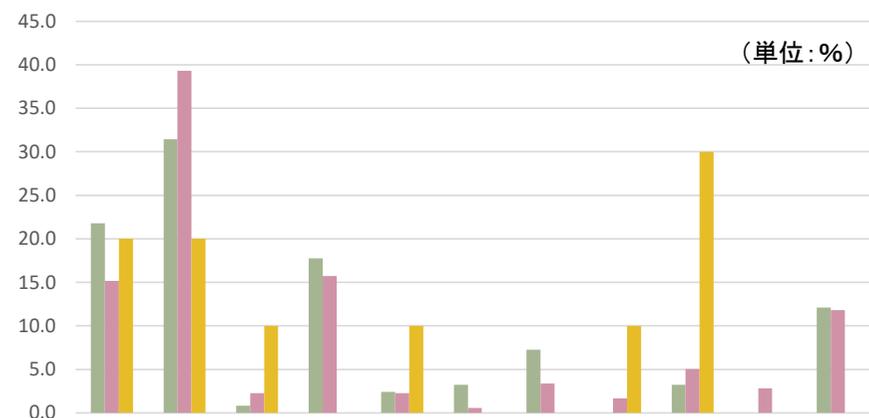
世帯主職業	(単位:%)											計
	会社員(市内勤務)	会社員(市外勤務)	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	
県内	16.0	36.6	0.0	12.2	6.1	3.8	0.0	0.0	3.8	6.1	15.3	100.0
県外	20.9	28.9	1.6	20.3	1.1	0.5	3.2	0.0	9.1	1.6	12.8	100.0
国外	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0
計	19.1	31.9	0.9	16.9	3.1	1.9	1.9	0.0	6.9	3.8	13.8	100.0

(2) 転出者の世帯主の職業

- ・ 転出者の世帯主の職業は、〔会社員（市外勤務）〕が最も多く、〔会社員（市内勤務）〕、〔公務員・団体職員〕が続く。
- ・ 〔会社員（市内勤務）〕の割合は、県内への転出者のほうが、県外への転出者よりも高い。
- ・ 〔県内への転出者21.8%、県外への転出者15.2%〕
- ・ 〔会社員（市外勤務）〕の割合は、県外への転出者のほうが、県内への転出者のよりも高い。
（県内への転出者31.5%、県外への転出者39.3%）



世帯主職業	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	記入者数計
県内	27	39	1	22	3	4	9	0	4	0	15	124
県外	27	70	4	28	4	1	6	3	9	5	21	178
国外	2	2	1	0	1	0	0	1	3	0	0	10
計	56	111	6	50	8	5	15	4	16	5	36	312

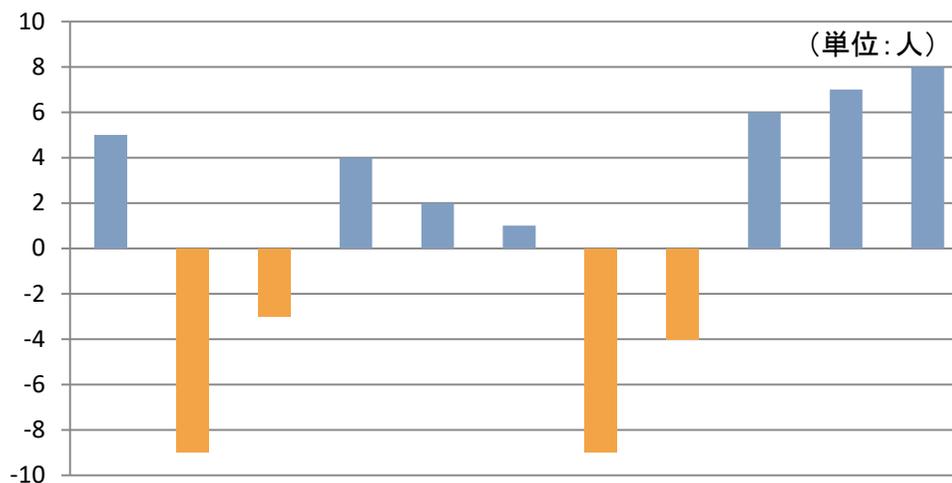


世帯主職業	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	計
県内	21.8	31.5	0.8	17.7	2.4	3.2	7.3	0.0	3.2	0.0	12.1	100.0
県外	15.2	39.3	2.2	15.7	2.2	0.6	3.4	1.7	5.1	2.8	11.8	100.0
国外	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0	100.0
計	17.9	35.6	1.9	16.0	2.6	1.6	4.8	1.3	5.1	1.6	11.5	100.0

(3) 転入超過数と転出超過数

① 全体

- ・ 記入者数ベースでは、全体で8人の転入超過である。
- ・ 転出超過が最も大きいのは、同数で〔会社員（市外勤務）〕・〔パート・アルバイト〕である。
- ・ 転入超過が最も大きいのは、〔無職〕で、〔会社員(市内勤務)〕が続く。

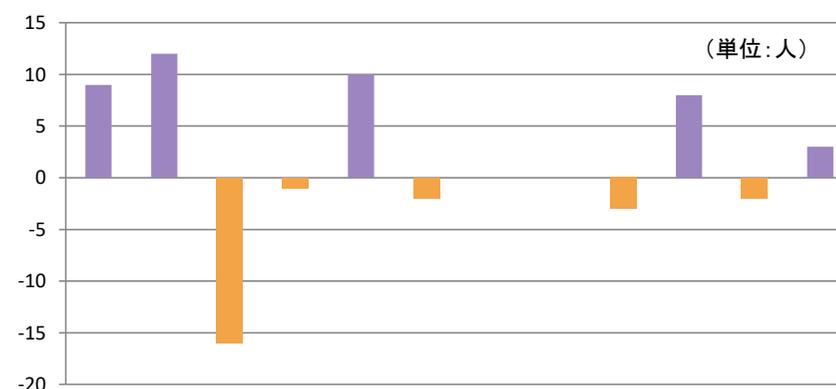
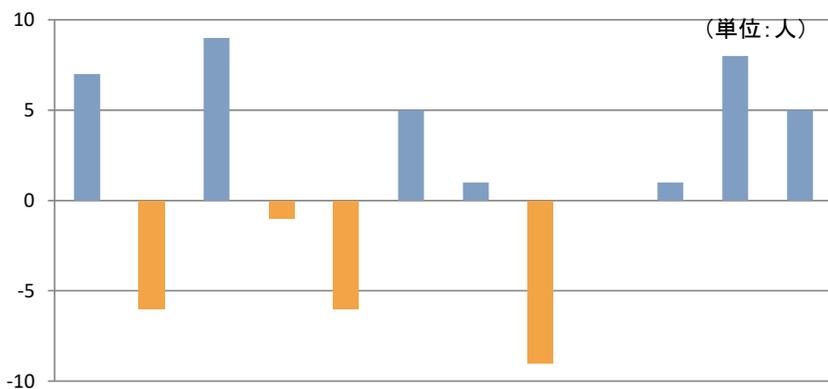


世帯主職業	会社員(市内勤務)	会社員(市外勤務)	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	記入者数計
転入	61	102	3	54	10	6	6	0	22	12	44	320
転出	56	111	6	50	8	5	15	4	16	5	36	312
差	5	-9	-3	4	2	1	-9	-4	6	7	8	8

(3) 転入超過数と転出超過数

② 県内および県外

- ・ 記入者数ベースでは、県内で7人の転入超過、県外で9人の転入超過である。
- ・ 県内で転入超過が最も大きいのは、〔会社員（市外勤務）〕で、次いで〔自営業〕が続く。
- ・ 県外で転入超過が最も大きいのは、〔会社員（市内勤務）〕、〔公務員・団体職員〕が続く。
- ・ 県内で転出超過が最も大きいのは、〔パート・アルバイト〕で、〔会社員（市内勤務）〕・〔公務員・団体職員〕が続く。
- ・ 県外で転出超過が最も大きいのは、〔会社員（市外勤務）〕で、〔主婦〕が続く。
- ・ 県内の移動において、市外勤務の会社員が転入超過であるのに対し、市内勤務の会社員が転出超過であることが、特徴的である。
- ・ 県外の異動において、市内勤務の会社員が転入超過であるのに対し、市外勤務の会社員が転出超過であることが、特徴的である。



県内	世帯主職業	合計	会社員(市内勤務)	会社員(市外勤務)	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明
	転入	131	21	48	0	16	8	5	0	0	5	8	20
	転出	124	27	39	1	22	3	4	9	0	4	0	15
	差	7	-6	9	-1	-6	5	1	-9	0	1	8	5

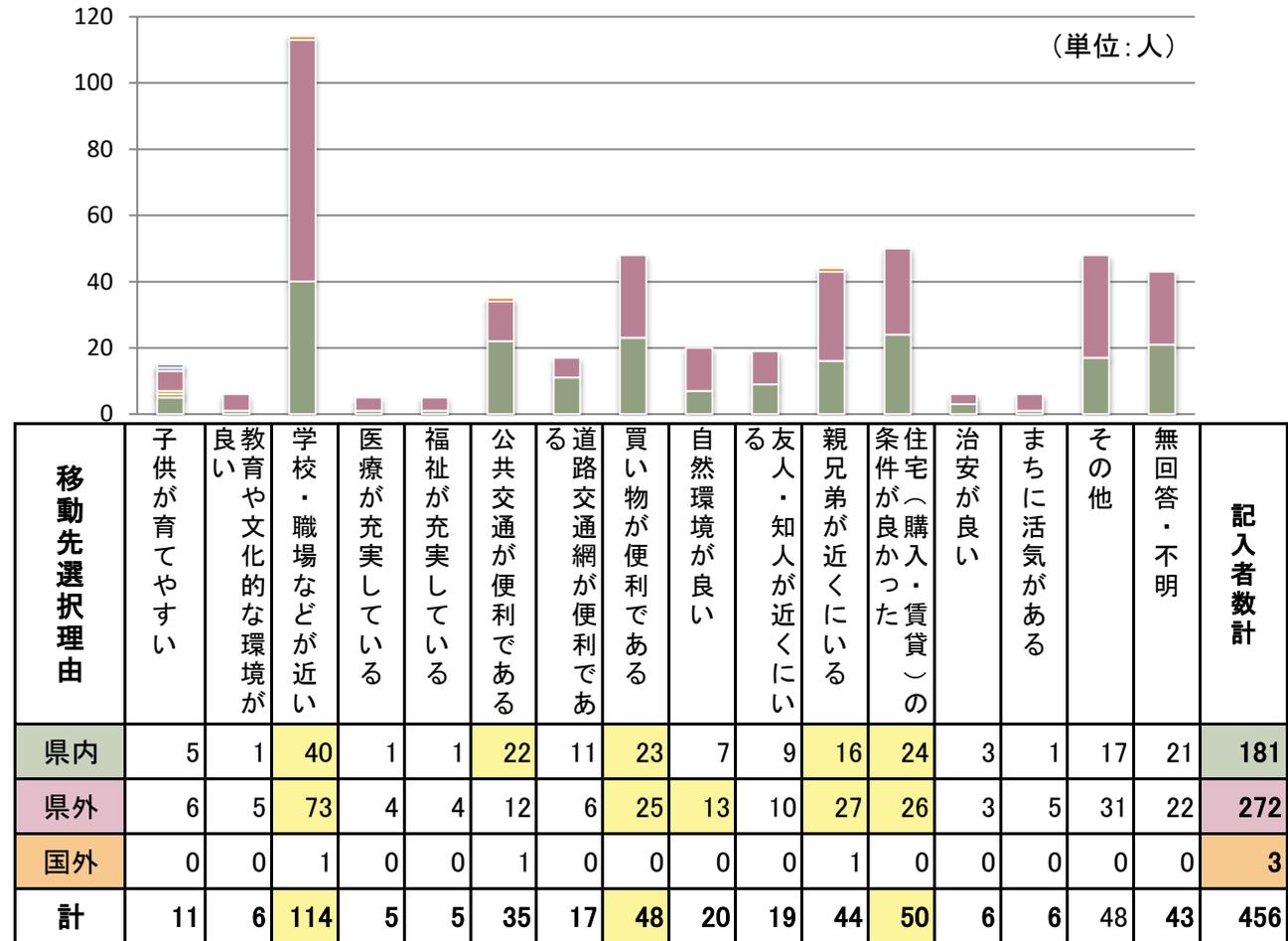
県外	世帯主職業	合計	会社員(市内勤務)	会社員(市外勤務)	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明
	転入	187	39	54	3	38	2	1	6	0	17	3	24
	転出	178	27	70	4	28	4	1	6	3	9	5	21
	差	9	12	-16	-1	10	-2	0	0	-3	8	-2	3

9 移動先を選んだ理由（記入者数ベース）

(1) 転入先を選んだ理由

① 県内・県外・国外別

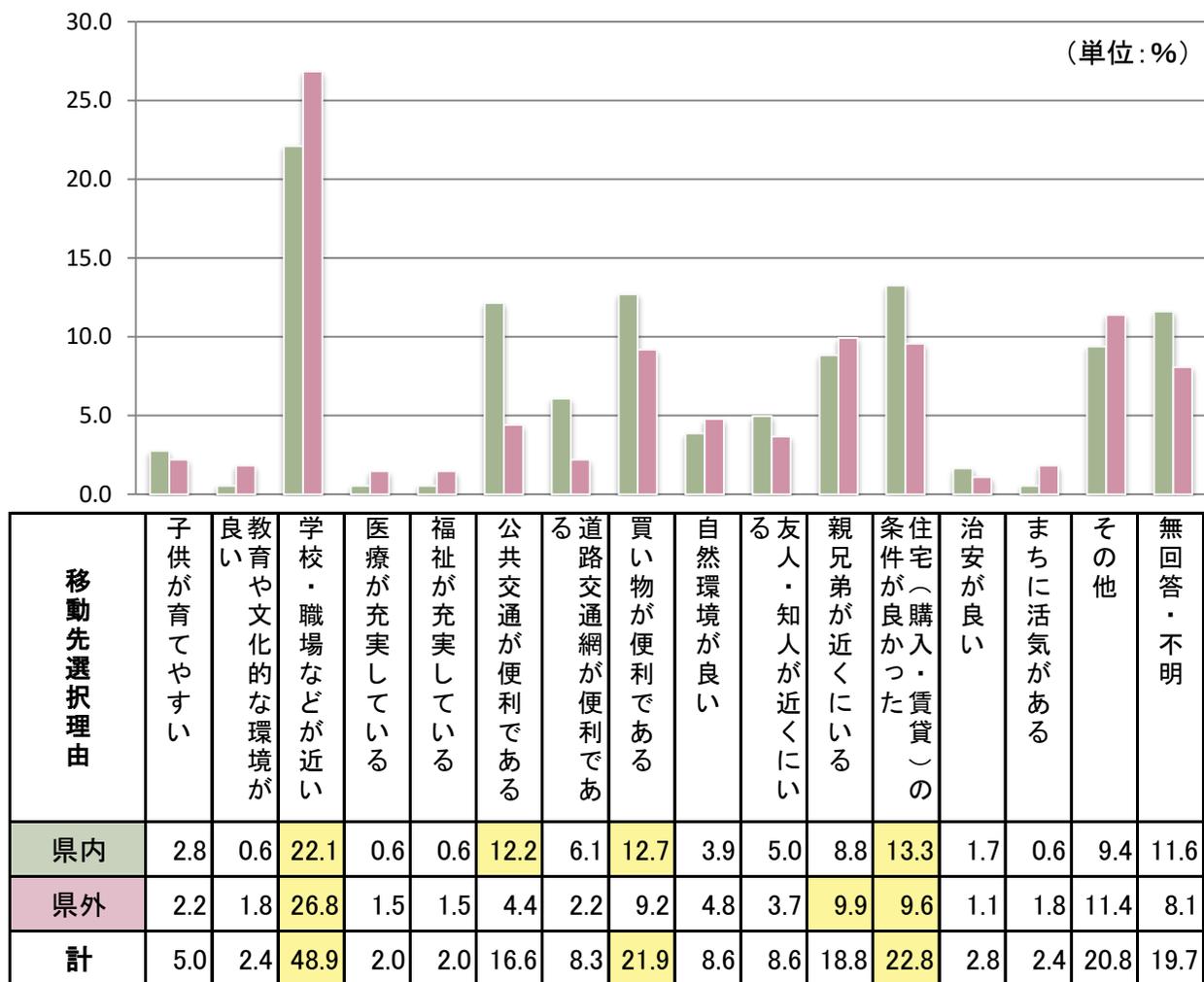
- ・本市を転入先にした理由は、上位から〔学校・職場などが近い〕、〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、〔買い物便利である〕となっている。
- ・県内からの転入者、県外からの転入者ともに、1位は〔学校・職場などが近い〕である。
- ・県内からの転入者の2位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕3位は〔買い物便利である〕、4位〔公共交通が便利である〕、5位〔親兄弟が近くにいる〕である。
- ・県外からの転入者の2位は〔親兄弟が近くにいる〕、3位〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、4位〔買い物便利である〕、5位〔自然環境が良い〕である。



(1) 転入先を選んだ理由

② 県内と県外の比較

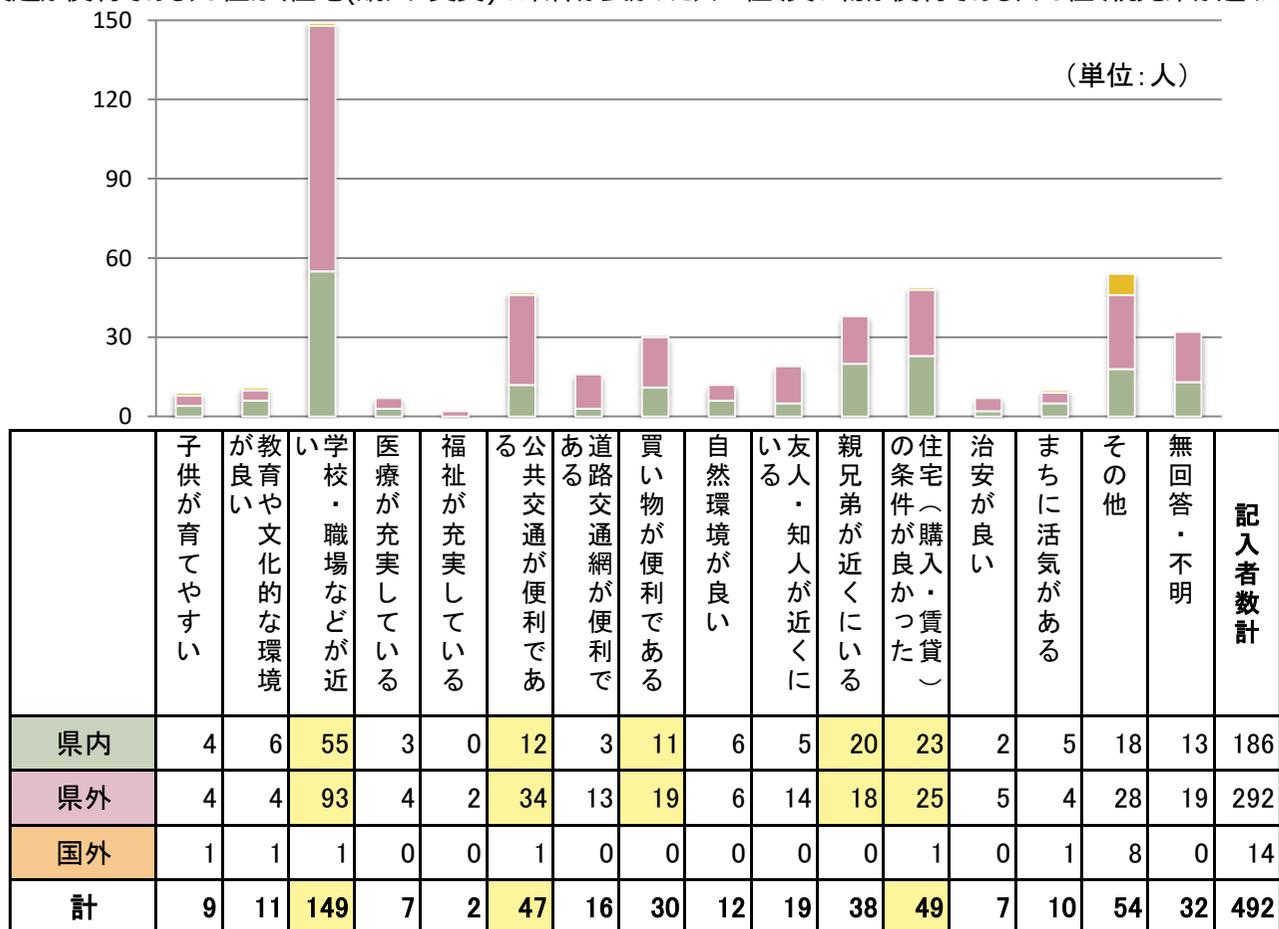
- ・ 県内からの転入者は、〔学校職場などの距離〕、〔住宅の条件〕、〔生活利便性〕を重視している。
- ・ 県外からの転入者は、〔学校職場などの距離〕、〔親・兄弟との近居・同居〕、〔住宅の条件〕を重視している。
- ・ 県内からの転入者は、県外からの転入者よりも〔公共交通の利便性〕、〔道路交通網〕、〔住宅の条件〕を重視している。
- ・ 県外からの転入者は、県内からの転入者よりも〔学校・職場などの距離〕を重視している。



(2) 転出先を選んだ理由

① 県内・県外・国外別

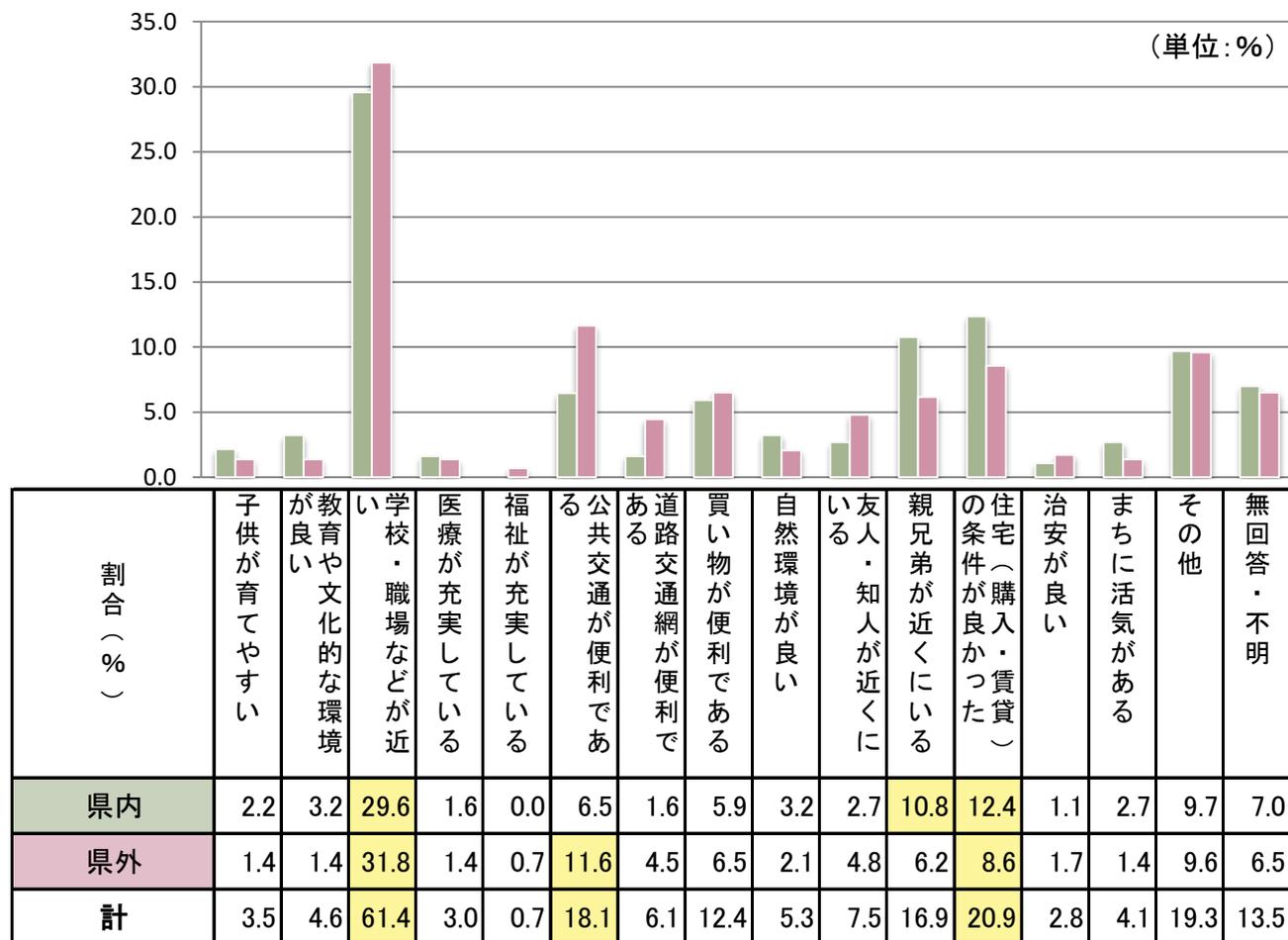
- ・本市を転入先に選んだ理由は、上位から〔学校・職場などが近い〕、〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、〔公共交通が便利である〕となっている。
- ・県内への転出者、県外への転出者ともに、1位は〔学校・職場などが近い〕である。
- ・県内への転出者の2位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、3位は〔親・兄弟が近くにいる〕、4位は〔公共交通が便利である〕、5位が〔買い物便利である〕である。
- ・県外への転出者の2位は〔公共交通が便利である〕3位は〔住宅（購入・賃貸）の条件が良かった〕、4位〔買い物便利である〕、5位〔親兄弟が近くにいる〕である。



(2) 転出先を選んだ理由

② 県内と県外の比較

- ・ 県内への転出者は、〔学校・職場などの距離〕、〔住宅の条件〕、〔親兄弟との近居・同居〕を重視している。
- ・ 県外への転出者は、〔学校・職場などの距離〕、〔公共交通の利便性〕、〔住宅の条件〕を重視している。
- ・ 県外への転出者は東京圏への移動が多いことから、勤務地や学校へのアクセス面を重視して転出先を選択していると考えられる。



10 自由記述

① 転入

親切、丁寧、思いやり。
関東平野は広々としていて気持ちが良い。
ひたち野うしく駅周辺の開発。
これから魅力を探します。
自転車で走りやすい道路整備、大きい公園等自然の充実。
道路、まちづくり等、特にひたち野うしくが住み良いと聞いているので楽しみにしている。
市の活性化(駅前や牛久シャトー等)。
子ども医療費を無料にしてほしい(以前、住んでいた市がそうであったため)。
駅前をもっと活性化させて欲しいです！(駅ビルをもっと良くしてほしい)
ひたち野方面にも各種申請手続きのできる市の窓口を開設してほしい。転入出や印鑑登録等の手続きができるようにしてほしい。
牛久シャトーに代わる素敵な所を作ってください。
安心して暮らすための治安がいい市がいいと思います。
6号国道の渋滞を解消してほしい。駅の近くについて特に。
ひたち野うしくが新しい町でキレイ。
牛久シャトーを活性化させて欲しい。
スーパーが多い。
特急の停車本数を増やして欲しい。保育園を新設して欲しい(ひたち野に)。
フェスティバル等、行事を増やして欲しい。
街灯が少なく夜道が暗く歩きづらい。
車の運転が荒い人が多い(土浦ナンバーやつくばナンバー)。
補助(住宅etc)。
近いうちに結婚してしばらくは牛久市に住むつもりなので、教育が良いと良いなと思います。
牛久市牛久町窓装飾専門店に勤めてます。EIKO是非利用してください。

道路がデコボコ。
牛久シャトーの再開を望む。
牛久シャトーが閉まってしまった様ですが、今後どのようになるのか。市の方も、より良い環境を成す様、何らかの進言等をお願いしたい。せっかくの緑を大切に。
TXとの連携。
神谷は道が狭い、暗い。
住みよい環境を希望。
つくば市かもしれないが、学園都市入口の信号を、赤の矢印信号での通行になっているのを、緑に変えて頂きたい。混む。一方向あたりの時間も長くしてほしい。
住民税が高い。
転出入窓口の土日対応又は夜間の窓口時間延長してもらえると早期手続きに便利です。他自治体では対応しているところが多い。昼休み時間の対応可はいいです。
道路の坂が少ないところ！
バスの利用が便利になること(場所によって本数もなく、近くに停留所がない)。街灯が増えること(暗いところが多いなと思います)。
人口が減らない活気ある市/ひたち野うしく駅の特急停車増。
エスカード牛久の有効活用をしていただきたいです。
高齢者にやさしい街を期待します。
都市ガス普及。
治安良くして下さい。
都市ガスを普及して頂けると助かります。プロパンは月々高い。
夜間、土日などの窓口がもう少しあれば良い。
駅前に買物できる施設を作って欲しい。
牛久シャトーを再開。
駅周辺がさらに便利(商業店舗等)になると嬉しいです。
スタバ(牛久駅に)、ゲームセンター、牛久駅前の活性化。

② 転出

2年程しか住んでいないのでよくわからない。特に大きな不満はない。
お年寄りの車の運転が危なくて怖いと思いました。
かっぱ号は安くて便利なのですが、もう少し本数が増えたら良いなと思いました。かっぱ祭りやこい祭りなどの行事が楽しかったです。
1年間しか住むことができませんでしたが、とても素敵なまちだったと思います。初めて行ったとき、きれい、静か、自然に囲まれ、生活面で不便しない程度のお店などあってよかったです。人に贈り物をしたいときなど、デパートがないのは不便だったが。特に、シャトーには感動して、他県の知人を誘って何度か訪れました。牛久を一番PRできる場所とっていたので、なくなってしまい、とても残念です。東京からのアクセスが比較的よいにも関わらず、あまりPRされていないように感じ、もう少し上手に人を呼び込んだり、物販の販路拡大できたらよかったのと思います。牛久駅前イベントをしていて、地域活性化の取り組みを工夫しているんだなと思い応援したい気持ちになりました。シャトー復活を含め、牛久の活性化に期待します。ありがとうございました。
牛久シャトーがなくなってしまったのは残念でした。
駅ビルに活気が戻れば良いなと思います。
奥野地区を元気にすること。
自然環境がよい、水道水がおいしい、道がこんでいない。
土日祝日のバスの運行なのですが、夜遅く(平日同様21時ごろ)までであるとありがたいです。
ゴミ収集等がきめ細かく、便利(クリーンセンター)。
個人的に牛久のことが好きなので、また戻ってきたいです。
子どもが遊びやすい場所が増えたらいいと思う。
牛久市だけではないが、この辺りの交通マナーは非常に悪い。排気音の大きい二輪車が多く、勤務中・就寝中共にうるさく感じるが多かった。
牛久シャトーの経営再開。(少なくとも入れるように)駅ビルの発展。
駅前がもっと栄えてると良い。
駅の近くに観光施設がほしい。
公共交通(バス等の充実)。
子育てしやすいとても素敵な環境でした。ありがとうございました。正直転職したくない理由に牛久から離れることがあります。

牛久転入出以前は、土浦市に在住していましたが、牛久市役所の対応はどの部署も大変親切丁寧で助かりました。以前は市役所手続き等苦痛でしたが、牛久市では全くそのようなことはありませんでした。本当にありがとうございました。
小学生へのヘルメット配布をするくらいなら、もっと子どもの医療費やインフルエンザ予防接種に給付金など助成してほしい。
住みやすいと思う。しかし、学生が遊ぶ場所は少ないと感じる。
牛久シャトーの地ビールが好きだったので復活して欲しい。桜まつりのビールが美味しかったです。
住みやすく好きです。
近隣の市町村に比べて、児童館やスポーツ施設が充実していない様感じるので充実させてほしい。
牛久シャトーの盛り上がり期待します。
ひたち野うしくはとっても住みやすい場所なので、また必ず戻ってきます。
親が手続きしました。娘は「牛久は嫌だ」と言います。学校(小中)時代の良い思い出、環境が無かったのだと思います。夜、犬の散歩で市役所の公園で怖い思いをした事があります。
この辺りでスーパー銭湯がないのは牛久だけです。是非つくってください。
週1回資源ごみ回収があってすばらしい。
住みやすい環境です。職場退職後は、牛久市へもどる。
牛久駅に少しでも停めれる(車を)場所がほしい。無料で！駐車違反取られるので。
期待はしていない！
タイ語の案内があると助かります。
とても住みよい町でした。ありがとうございました。
きれいで、買物も便利でクリニック等も近くに沢山あってとても良い街でした。
ジブリパーク設立。
田宮に住んでいましたが、子供を見かけなくなりました。子供のためになる環境整備をお願いします。例えば二小のグラウンドや公園の整備です。付近の調整池より大事なことはないでしょうか。
ラウンドワンを作してほしいです。
転出届(裏)が分かりづらいです。

<p>駅周辺の開発、駅ナカの開発、店を増やしてほしい、バスの本数の増加。</p>
<p>穏やかですが、お祭りやイベント等活気もあり、いい市に生まれ育ったと思います。学校がきれいになるとうれしいです。あと、エスカカードは昔に比べて少し怖いです。派手なお店はなくても、人がいる場所にしてほしいです。</p>
<p>子育て拠点やNPOetcの数、質ともにつくば市の方が便利だった。(乳幼児)牛久市にも、もっとがんばってほしい。学校は牛久市は質が良いという話を聞いた。</p>
<p>ゴミ出しルールや保育園事情など、牛久の方が住みやすくて良かった。牛久市内で家を建てたかったが、駅周辺の宅地の競争が激しく入手できなかったのが残念。</p>
<p>イベント、バスケット施設を作してほしい。</p>
<p>駅前がなにもない。</p>
<p>シャトー牛久頑張ってください。</p>
<p>牛久シャトーが新たな形で運営再開されることを希望します。</p>
<p>市役所の人たちの対応がとても良いと思います！よく聞いてくれて、笑顔で対応してくれます！</p>
<p>牛久市はたいへん住みやすい街でした。ただ、住民税が高いのが不満があります。</p>
<p>牛久クリーンセンターは大変助かりました。</p>
<p>とても住みやすかったです。</p>
<p>牛久市に住んでまだ日が浅いですが、とても良い市でした。お店がたくさんで良い。</p>
<p>牛久シャトーで働いた際、お客様がよく言っていたことがあります。牛久は良いものもあるのに、それを宣伝する力がなく、つくばはなにもないけど宣伝の力で活気があると。確かにそうだなと思います。</p>
<p>牛久シャトーが昨年閉鎖にあたり、夫が転職し引っ越します。シャトーはお客様のためであると、同時に働く人がいなくなると牛久から出ていく人も増えます。牛久市のためにも、どうにかするべきです。</p>
<p>自然豊かで空気が澄んでいる。いなかでおだやか。最近車の渋滞が目立ってきて、とても不便を感じていた。</p>
<p>道路の安全性向上。</p>
<p>チャイルドシートレンタルなど子どもへの支援やサービスを強化してほしいです。</p>
<p>かっぱ号を増やして下さい！</p>
<p>住みやすい環境でもあるし、人間関係もおおむね良好である。牛久市が中心となり、シャトー、牛久沼、大仏などの魅力や、活力のある市づくりにのりだしたら、人がさらに集まるのではないのでしょうか？牛久市の方のアイデア次第です。</p>

深夜でも飲める居酒屋が欲しかった。

ひたち野うしく駅に近く、スーパー、コンビニ近く大変住みやすかったです。

実家が牛久市内なので今後も牛久市に来ることになる。駅周辺にもう少し買い物ができる場所があったらよいと思う。

Ⅲ. 調査結果

(詳細集計)

1 近隣市町村間の移動（原因者数ベース）

- ・近隣市町村間の移動理由および移動先を選んだ理由を集計。
- ・移動理由は、転入においては〔家族から独立〕・〔生活の利便性〕・〔住宅購入（新築）〕・〔結婚〕が上位である。
転出においては、〔結婚〕・〔住宅購入（新築）〕・〔親との同居〕・〔転職（転業）〕が上位である。
- ・移動先を選んだ理由では、転入においては〔学校・職場などが近い〕・〔買い物に便利である〕・〔親兄弟が近くにいる〕・〔住宅の条件が良かった〕が上位である。
転出においては、〔学校・職場などが近い〕・〔住宅の条件が良かった〕・〔親兄弟が近くにいる〕・〔友人・知人が近くにいる〕が上位である。

	移動理由	就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	移動先選択理由	子供が育てやすい	教育や文化的な環境が良い	学校・職場などが近い	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物が便利である	自然環境が良い	友人・知人が近くにいる	親兄弟が近くにいる	住宅（購入・賃貸）の条件が良かった	治安が良い	まちに活気がある	その他	無回答・不明	
																																						つくば市
人数（人）	転入前	つくば市	1	1	2	0	2	0	0	2	0	0	4	0	1	1	3	3	3	0	1	つくば市	2	1	6	0	1	2	2	2	0	1	6	4	0	0	3	7
		龍ヶ崎市	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	2	0	0	0	0	龍ヶ崎市	1	0	1	0	0	1	2	3	1	1	4	2	0	0	0	1
		土浦市	0	4	1	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	3	0	2	0	土浦市	0	0	7	0	0	3	1	5	2	1	0	3	1	1	2	1
		阿見町	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	2	0	1	0	阿見町	0	0	4	1	0	2	0	5	1	3	1	2	0	0	0	1
	転出後	つくば市	3	4	1	0	6	1	0	0	0	0	6	0	3	1	2	2	1	0	1	つくば市	3	3	17	2	0	3	1	6	4	0	3	7	2	4	2	1
		龍ヶ崎市	0	1	0	0	3	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	2	0	龍ヶ崎市	0	0	3	0	0	3	0	2	0	2	5	5	0	0	0	1
		土浦市	2	0	1	0	6	0	0	1	0	0	2	2	3	0	1	1	1	3	0	土浦市	1	0	9	0	0	0	1	0	0	9	4	4	0	0	6	4
		阿見町	0	1	0	0	0	2	0	1	0	1	3	1	0	0	1	0	0	1	0	阿見町	0	0	3	1	0	1	0	1	0	0	1	4	0	0	1	4
割合（％）	転入前	つくば市	2.7%	2.7%	5.4%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	10.8%	0.0%	2.7%	2.7%	8.1%	8.1%	8.1%	0.0%	2.7%	つくば市	3.4%	1.7%	10.2%	0.0%	1.7%	3.4%	3.4%	3.4%	0.0%	1.7%	10.2%	6.8%	0.0%	0.0%	5.1%	11.9%
		龍ヶ崎市	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	龍ヶ崎市	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	2.9%	5.7%	8.6%	2.9%	2.9%	11.4%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
		土浦市	0.0%	22.2%	5.6%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	16.7%	0.0%	11.1%	0.0%	土浦市	0.0%	0.0%	30.4%	0.0%	0.0%	13.0%	4.3%	21.7%	8.7%	4.3%	0.0%	13.0%	4.3%	4.3%	8.7%	4.3%
		阿見町	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%	阿見町	0.0%	0.0%	23.5%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%	29.4%	5.9%	17.6%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%
	転出後	つくば市	6.8%	9.1%	2.3%	0.0%	13.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	6.8%	2.3%	4.5%	4.5%	2.3%	0.0%	2.3%	つくば市	4.5%	4.5%	25.8%	3.0%	0.0%	4.5%	1.5%	9.1%	6.1%	0.0%	4.5%	10.6%	3.0%	6.1%	3.0%	1.5%
		龍ヶ崎市	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	10.3%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	6.9%	0.0%	龍ヶ崎市	0.0%	0.0%	11.5%	0.0%	0.0%	11.5%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	19.2%	19.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
		土浦市	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	16.7%	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%	16.7%	0.0%	土浦市	4.8%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	42.9%	19.0%	19.0%	0.0%	0.0%	28.6%	19.0%
		阿見町	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	阿見町	0.0%	0.0%	21.4%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%	7.1%	28.6%

※各市町村ごとに、理由上位3つを黄色塗りしている

2 就職による県外間移動（原因者数ベース）

① 年代、性別ごと

- ・ 就職による県外間移動を年代と性別でみる。
- ・ 全体をみると、女性よりも男性の移動が多く、県外からの転入では57.4%、県外への転出では56.1%を男性が占める。
- ・ 年代別に見ると、20歳代に集中している。

移動理由 就職	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県外 から 転入	年代別計(人)	4	39	2	0	2	0	0	0	0	47	
	性別	男性	4	19	2	0	2	0	0	0	0	27
		女性	0	20	0	0	0	0	0	0	0	20
		年齢性別不明										0
県外 へ 転出	年代別計(人)	1	54	2	0	0	0	0	0	0	57	
	性別	男性	0	30	2	0	0	0	0	0	0	32
		女性	1	24	0	0	0	0	0	0	0	25
		年齢性別不明										

移動理由 就職	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県外 から 転入	年代別計(%)	8.5%	83.0%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	8.5%	40.4%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.4%
		女性	0.0%	42.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.6%
		年齢性別不明										0.0%
県外 へ 転出	年代別計(%)	1.8%	94.7%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	0.0%	52.6%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	56.1%
		女性	1.8%	42.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.9%
		年齢性別不明										0.0%

② 転入前の地域、転出後の地域

- ・ 県外からの転入者をみると、男女ともに東京圏が多いが、全国各地からの転入があることが分かる。
- ・ 一方、県外への転出者は男女ともに東京圏に集中している。(男性78.1%、女性96.0%)

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※	中部	東北	近畿	九州	北関東	四国	北海道		計
	人数(人)	12	5	3	2	2	1	1	1		27
	女性	東京圏※	東北	北関東※	中国	中部	九州				計
	人数(人)	8	5	2	2	2	1				20
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※	中部	九州	近畿	東北					計
	人数(人)	25	3	2	1	1					32
	女性	東京圏※	東北								計
	人数(人)	24	1								25

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」、北関東は「栃木県・群馬県」

転入前地域 (県外)	男性	東京圏	中部	東北	近畿	九州	北関東	四国	北海道		計
	割合(%)	44.4%	18.5%	11.1%	7.4%	7.4%	3.7%	3.7%	3.7%		100.0%
	女性	東京圏	東北	北関東	中国	中部	九州				計
	割合(%)	40.0%	25.0%	10.0%	10.0%	10.0%	5.0%				100.0%
転出後地域 (県外)	男性	東京圏	中部	九州	近畿	東北					計
	割合(%)	78.1%	9.4%	6.3%	3.1%	3.1%					100.0%
	女性	東京圏	東北								計
	割合(%)	96.0%	4.0%								100.0%

3 転職による転出（原因者数ベース）

① 年代、性別ごと

- ・ 県内への転出15人に対し、県外への転出は17人であり、ほぼ同数である。
- ・ 県内・県外の転出ともに男性の割合が高く、県内への転出では86.7%、県外への転出では82.4%が男性である。
- ・ 年代は20歳代に集中している。

移動理由 転職	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県内へ 転出	年代別計(人)	2	10	1	2	0	0	0	0	15	
	性別	男性	2	8	1	2	0	0	0	0	13
		女性	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		年齢性別不明									0
		年代別計(人)	0	6	7	4	0	0	0	0	17
県外へ 転出	性別	男性	0	4	7	3	0	0	0	0	14
		女性	0	2	0	1	0	0	0	0	3
		年齢性別不明									0
		年代別計(人)	0	6	7	4	0	0	0	0	17

移動理由 転職	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢 不明	年齢 性別 不明	合計	
県内へ 転出	年代別計(%)	13.3%	66.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	13.3%	53.3%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	86.7%
		女性	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
		年齢性別不明									0
		年代別計(%)	0.0%	35.3%	41.2%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
県外へ 転出	性別	男性	0.0%	23.5%	41.2%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	82.4%
		女性	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%
		年齢性別不明									0.0%
		年代別計(%)	0.0%	35.3%	41.2%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

① 転出後市町村、転出後地域

- ・ 県内への転出先は、幅広い市町村となっている。
- ・ 県外への転出先は、男性・女性ともに東京圏の割合が最も高く、女性は100%となっている。

転出後市町村 (県内)	男性	つくば市	水戸市	鹿嶋市	取手市	那珂市	常陸大宮市	ひたちなか市	守谷市	龍ヶ崎市	阿見町	計
	人数(人)	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	女性	つくば市	取手市									計
	人数(人)	1	1									2
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※	関東	近畿	四国	中部						計
	人数(人)	9	2	1	1	1						14
	女性	東京圏※										計
	人数(人)	3										3

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」

転出後市町村 (県内)	男性	つくば市	水戸市	鹿嶋市	取手市	那珂市	常陸大宮市	ひたちなか市	守谷市	龍ヶ崎市	阿見町	計
	割合(%)	23.1%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	100.0%
	女性	つくば市	取手市									計
	割合(%)	50.0%	50.0%									100.0%
転出後地域 (県外)	男性	東京圏	関東	近畿	四国	中部						計
	割合(%)	64.3%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%						100.0%
	女性	東京圏										計
	割合(%)	100.0%										100.0%

4 結婚による移動（原因者数ベース）

(1) 県内間移動

① 年代、性別ごと

- ・ 県内からの転入、県内への転出ともに18人で同数となっている。
- ・ 移動者は転入は男性・女性ともに同数の一方、転出は男性より女性の方が多い。
- ・ 年代は、20歳代から30歳代に集中している。

移動理由	結婚	年代	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	年齢不明	年齢性別不明	合計
県内から転入	年代別計(人)		0	8	5	2	3	0	0	18
	性別	男性	0	3	3	1	2	0	0	9
		女性	0	5	2	1	1	0	0	9
		年齢性別不明								0
県内へ転出	年代別計(人)		0	10	6	0	1	1	0	18
	性別	男性	0	1	2	0	0	0	0	3
		女性	0	9	4	0	1	1	0	15
		年齢性別不明								0

移動理由	結婚	年代	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	年齢不明	年齢性別不明	合計
県内から転入	年代別計(%)		0.0%	44.4%	27.8%	11.1%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	性別	男性	0.0%	16.7%	16.7%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	50.0%
		女性	0.0%	27.8%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	50.0%
		年齢性別不明								0.0%
県内へ転出	年代別計(%)		0.0%	55.6%	33.3%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	100.0%
	性別	男性	0.0%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
		女性	0.0%	50.0%	22.2%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	83.3%
		年齢性別不明								0.0

(1) 県内間移動

② 県内、転入前市町村、転出後市町村

- ・ 男性の県内市町村間の結婚による移動は、転入は桜川市と阿見町が多く、転出はつくば市、土浦市、龍ヶ崎市が多い。
- ・ 女性の県内市町村間の結婚による移動は、転入・転出ともにつくば市と土浦市が最も多い。

転入前市町村(県内)	男性	桜川市	阿見町	稲敷市	小美玉市	笠間市	水戸市	龍ヶ崎市			計
	人数(人)	2	2	1	1	1	1	1			9
	女性	つくば市	土浦市	常総市	つくばみらい市	取手市	日立市	河内町			計
	人数(人)	2	2	1	1	1	1	1			9
転出後市町村(県内)	男性	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市							計
	人数(人)	1	1	1							3
	女性	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	取手市	日立市	水戸市				計
	人数(人)	5	5	2	1	1	1				15

転入前市町村(県内)	男性	桜川市	阿見町	稲敷市	小美玉市	笠間市	水戸市	龍ヶ崎市			計
	割合(%)	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%			100.0%
	女性	つくば市	土浦市	常総市	つくばみらい市	取手市	日立市	河内町			計
	割合(%)	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%			100.0%
転出後市町村(県内)	男性	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市							計
	割合(%)	33.3%	33.3%	33.3%							100.0%
	女性	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	取手市	日立市	水戸市				計
	割合(%)	33.3%	33.3%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%				100.0%

(2) 県外間移動

① 年代、性別ごと

- ・ 県外からの転入は11人に対し、県内への転出は17人であり、結婚による県外間移動においては6人の転出超過である。
- ・ 性別移動数は、県外・県内問わず男性より女性の方が多い。
- ・ 年代は、20歳代から30歳代に集中しており、特に20歳代女性の割合が高い。

移動理由		年代		10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢不明	年齢性別不明	合計	
県外から転入	年代別計(人)	0	7	3	1	0	0	0	0	0	0	11	
	性別	男性	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
		女性	0	6	2	1	0	0	0	0	0	0	9
		年齢性別不明											0
県外へ転出	年代別計(人)	0	8	6	3	0	0	0	0	0	0	17	
	性別	男性	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
		女性	0	8	3	3	0	0	0	0	0	0	14
		年齢性別不明											0

移動理由		年代		10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢不明	年齢性別不明	合計	
県外から転入	年代別計(%)	0.0%	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%
		女性	0.0%	54.5%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%
		年齢性別不明											0.0%
県外へ転出	年代別計(%)	0.0%	47.1%	35.3%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	性別	男性	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%
		女性	0.0%	47.1%	17.6%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	82.4%
		年齢性別不明											

(2) 県外間移動

② 県内、転入前市町村、転出後市町村

- ・ 県外間の結婚による移動は、男女問わず転入・転出共に東京圏が中心となっている。
- ・ 男性は、転入・転出ともに東京圏のみとなっている。
- ・ 女性は、転入・転出ともに東京圏中心となっている。

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※						計
	人数(人)	2						2
	女性	東京圏※	中部	関東	九州			計
	人数(人)	5	2	1	1			9
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※						計
	人数(人)	3						3
	女性	東京圏※	北海道	中部	四国			計
	人数(人)	11	1	1	1			14

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」

転入前地域 (県外)	男性	東京圏※						計
	割合(%)	100.0%						100.0%
	女性	東京圏※	中部	関東	九州			計
	割合(%)	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%			100.0%
転出後地域 (県外)	男性	東京圏※						計
	割合(%)	100.0%						100.0%
	女性	東京圏※	北海道	中部	四国			計
	割合(%)	78.6%	7.1%	7.1%	7.1%			100.0%

5 住宅購入による県内間移動（原因者数ベース）

- ・ 住宅購入による県内間移動の状況を見ると、近隣市町間の転入・転出の割合が高い。
- ・ 新築・中古別に見ると、転出・転出共に新築購入者数の方が多い。
- ・ 特に転出に関しては、新築購入者の割合が高い。
- ・ 転入・転出ともにつくば市が最も多い。

県内から転入	市町村	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	取手市	阿見町	小美玉市	水戸市			計
	住宅購入	4	3	3	2	1	1	1			15
	うち新築	4	1	2	1	0	1	1			10
	うち中古	0	2	1	1	1	0	0			5

県内から転入	市町村	つくば市	土浦市	龍ヶ崎市	取手市	阿見町	小美玉市	水戸市			計
	住宅購入	26.7%	20.0%	20.0%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%			100.0%
	うち新築	26.7%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%			66.7%
	うち中古	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%			33.3%

県内へ転出	市町村	つくば市	土浦市	阿見町	龍ヶ崎市	守谷市	うらら市	かすみがうら市	取手市	日立市	美浦村	計
	住宅購入	6	4	4	3	2	1	1	1	1	1	23
	うち新築	6	2	3	3	2	1	1	1	1	1	20
	うち中古	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3

県内へ転出	市町村	つくば市	土浦市	阿見町	龍ヶ崎市	守谷市	うらら市	かすみがうら市	取手市	日立市	美浦村	計
	住宅購入	26.1%	17.4%	17.4%	13.0%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	100.0%
	うち新築	26.1%	8.7%	13.0%	13.0%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	87.0%
	うち中古	0.0%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%

6 中古住宅購入による転入（原因者数ベース）

- ・年代をみると、〔50歳代）・〔60歳代〕が最も多いが、幅広い年代の転入がある。
- ・世帯主の職業は〔市外勤務の会社員）・〔無職〕が最も多く、次いで〔市内勤務の会社員〕が多い。
- ・転入する地区をみると、〔ひたち野東〕が最も多く、〔さくら台〕が続く。

転入後の家族構成	合計 (人)	年齢不明						
		20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢不明
合計	11	0	2	1	3	3	2	0
一人暮らし	1	0	0	0	0	1	0	0
親と独身の子が同居	2	0	0	0	0	2	0	0
夫婦が同居	3	0	0	1	1	0	1	0
夫婦と子どもが同居	3	0	1	0	2	0	0	0
ひとり親と子どもが同居	0	0	0	0	0	0	0	0
親と子ども夫婦、孫が同居	0	0	0	0	0	0	0	0
親と独身の子、孫が同居	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	1	0
無回答・不明	1	0	1	0	0	0	0	0

世帯主の職業	合計 (人)	年齢不明						
		20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢不明
合計	11	0	2	1	5	2	1	0
会社員(市内勤務)	2	0	1	1	0	0	0	0
会社員(市外勤務)	3	0	0	0	1	1	1	0
会社役員	0	0	0	0	0	0	0	0
公務員・団体職員	1	0	0	0	1	0	0	0
自営業	0	0	0	0	0	0	0	0
派遣・契約社員	0	0	0	0	0	0	0	0
パート・アルバイト	1	0	0	0	1	0	0	0
主婦	0	0	0	0	0	0	0	0
無職	3	0	0	0	2	1	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答・不明	1	0	1	0	0	0	0	0

転入する地区	合計 (人)	年齢不明						
		20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	年齢不明
合計	11	0	2	1	3	3	2	0
刈谷	1	0	0	0	0	0	1	0
田宮町	1	0	0	0	1	0	0	0
東獺穴町	1	0	0	0	1	0	0	0
ひたち野東	3	0	0	0	1	2	0	0
中央	1	0	0	0	0	0	1	0
南	1	0	0	0	0	1	0	0
さくら台	2	0	1	1	0	0	0	0
無回答・不明	1	0	1	0	0	0	0	0

7 親との同居・近居による転入（原因者数ベース）

(1) 転入理由（親との同居・近居）

- ・親との同居・近居による転入者の年代をみると、20・40歳代の割合が最も高い。
- ・移動後の世帯構成をみると、「親と独身の子が同居」が最も高い。
- ・転入地区を転入者全体と比較すると、新市街地への転入の割合が低く、旧市街地への転入の割合が高いことがわかる。

年代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	年齢 不明	合計
人数(人)	0	0	4	2	4	1	1	1	0	1	0	14
割合(%)	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	100.0%

移動後の世帯構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	子どもが親とひとり親と同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	2	5	1	1	0	2	0	1	2	14
割合(%)	14.3%	35.7%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%	14.3%	100.0%

転入地区	刈谷	田宮町	田宮	ひたち野西	ひたち野東	上柏田	南	さくら台	桂	無回答・不明	合計	
	同居+近居	人数(人)	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1
	割合(%)	7.1%	7.1%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	100.0%
転入者全体※	人数(人)	10	5	8	34	33	22	29	23	1	40	205
	割合(%)	3.1%	1.6%	2.5%	10.6%	10.3%	6.9%	9.1%	7.2%	0.3%	12.5%	64.1%

※各地区に転入した原因者数/アンケート回答数(転入者分)×100、「同居」または「近居」と回答のあった地区のみを抽出しており、合計は100%とならない

(2) 転入先選択理由（親兄弟が近くにいる）

- ・牛久市に転入した理由（単一回答）として〔親と同居・近居〕と回答した人数は14人で、転入者全体の4.4%。
- ・転入先として牛久市を選択した理由（複数回答）として〔親兄弟が近くにいる〕ことと回答した人数は44人で、転入者全体の13.8%。
- ・〔親兄弟が近くにいる〕と回答した44人の転入した理由（単一回答）をみると、〔住宅購入(中古・新築)〕、〔両親等との同居〕、〔就職〕が上位にある。
- ・例えば結婚を機に親との同居や近居をした場合、結婚が主たる転入理由となり、単一回答の設問では、「両親との同居・近居」14人(4.4%)よりも多いと考えられる。

●牛久市に転入した理由（単一回答）

移動理由	就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	両親等との同居	両親等との近居	家族からの独立	生活の利便性	交通の利便性	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	64	31	68	8	29	9	1	4	5	9	14	11	9	5	14	12	5	15	7	320
割合(%)	20.0%	9.7%	21.3%	2.5%	9.1%	2.8%	0.3%	1.3%	1.6%	2.8%	4.4%	3.4%	2.8%	1.6%	4.4%	3.8%	1.6%	4.7%	2.2%	100.0%

●「親兄弟が近くにいる」ことと回答した人の転入した理由（単一回答）

移動理由	就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	両親等との同居	両親等との近居	家族からの独立	生活の利便性	交通の利便性	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	4	3	1	3	2	2	0	1	1	5	6	6	5	3	0	1	0	1	0	44
割合(%)	9.1%	6.8%	2.3%	6.8%	4.5%	4.5%	0.0%	2.3%	2.3%	11.4%	13.6%	13.6%	11.4%	6.8%	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%

●転入先として牛久市を選択した理由（複数回答）

移動先選択理由	子どもが育てやすい	教育や文化的な環境がよい	学校・職場などが近い	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物便利である	自然環境がよい	友人・知人が近くにいる	親兄弟が近くにいる	住宅（購入・賃貸）の条件がよかった	治安がよい	まちに活気がある	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	11	6	114	5	5	35	17	48	20	19	44	50	6	6	48	43	477
割合(%)	3.4%	1.9%	35.6%	1.6%	1.6%	10.9%	5.3%	15.0%	6.3%	5.9%	13.8%	15.6%	1.9%	1.9%	15.0%	13.4%	※

※複数回答であり、合計は100%とはならない